

ホメオパシー統合医療専門校
カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー

CHhom 学校案内

4年制プロフェッショナル
*e*ラーニングコース

6月開講随時入学可



CHhomの目指すもの

CHhomは、人々がホメオパシーを通して、自らの力で健康になり、本来の自分自身を生きられるように導くプロフェッショナルホメオパスを育成、輩出し、社会に貢献していくことを目指しています。

プロフェッショナルホメオパスの志

この学校は本気で人間を学ぶ学校であり、プロフェッショナルホメオパスの精鋭を育成する学校です。またホメオパシーを日本に普及するために努力を惜しまずに、協力できる方を募集します。

- 002 … CHhomの目指すもの
- 003 … CHhomへようこそ
- 004 … CHhomは人間を学び、人間を作る学校である
- 006 … ZENホメオパシーとは
- 007 … 名誉学長挨拶
- 010 … 教育理念
- 011 … 沿革
- 012 … CHhomで学ぶということ
- 017 … CHhomの特長
- 021 … 取得可能な資格とカリキュラム
- 024 … 講師紹介
- 028 … 学校案内
- 030 … CHhom学生・卒業生の特典
- 030 … Q&A
- 034 … カリキュラム
- 035 … CHhomプロフェッショナルコースご入学までの流れ
- 036 … CHhom一年次のイベント
- 038 … CHhomの由井寅子名誉学長は、世界のホメオパシー界から学会に招聘されるトップクラスの療法家
- 040 … 卒業後の進路・就職状況
- 041 … 在校生・卒業生の声
- 045 … その他のコース案内

カレッジ・オブ・ホリスティック・ ホメオパシー (C H h o m) へようこそ

C H h o m (旧 R A H) は、由井寅子名誉学長(以下由井先生)が1997年に日本校を開校して以来、一貫してよりよいメソッドを模索し、改良に改良を重ね、現在、ZENホメオパシーに至っています。そういう意味で、ZENホメオパシーは、人の命を扱う治療家・ホメオパスが、どのような技術と心構えが必要であるかを日々研鑽して来た結果であり、集大成であります。

「病氣や苦難は意味があり、誤った生き方・考え方をしていることに気づかせ、正しい道に戻すためのお知らせと捉えることがとても大切(由井先生)」

そうであるならば、ホメオパスは、

クライアントの今までの生き方・考え方が正しくないことに気づかせ変えられるよう導くことが治療に導く鍵であり、同時に、クライアントが病氣や苦難に遭遇したとき、基本的にクライアント自身が自分でその軌道修正ができるよう導くことが根本治療と言えるのではないかと考えます。そのようなホメオパス(真の治療家)になるために、由井先生が開発したZENホメオパシーを学ぶ必要があるのです。

ZENホメオパシーの学習は、大きく分けて、「基本」と「実践」に分類されます。

基本は、ホメオパシーの学習と正しい生き方・考え方に関する学習で、eラーニングで学びます。

実践は、由井先生(あるいは他のホメオパス)が毎週行う生の相談会を見学することです(生で見られない方は後日配信で学ぶことができます)。実践としてのリアルな相談会を見学することで、基本で学んだ知識が知恵となり、真に実力のあるホメオパスの育成に繋がります。

この基本と実践の2つの学習によつて、多くの苦しむ人々を救うことができるホメオパスが誕生します。それはC H h o m開校以来の願いであります。

ホメオパシーの創始者ハーネマンも一生涯ホメオパシーのメソッドを改良し続けました。基本は基本として学び、そこからより普遍的なホメオパシーメソッドに発展させてほしいとハーネマン自身も願っていることでしょう。



CHhomは人間を学び、 人間を作る学校である

CHhomが他のホメオパシー の学校と違うところは？

CHhomの特徴はハーネマンの教えをベースにしたホメオパシーの知識を学べるだけでなく、「人間を学ぶ」学校であり、「人間を作る」学校であるという点が大きな特徴です。

CHhomでは由井先生が「人はどう生きるべきか？」「人はなぜ病気になるのか？」「命とは何か？」など私達がこれまでの義務教育では教わって来なかった人間が生きるために大切な「真の教育」を伝えます。ホメオパシーの学校になぜこのような教育が必要なのか？それは、ホメオパスはホメオパシーの治療家としてクライアントの命を扱うという大

事な使命を持った職業であるからです。

コロナ禍において多くの方々が、現代医学の問題、ワクチン信奉の裏側に気づきました。無知に自分の健康を他人任せにするのではなく、無明に病気を怖れるのではなく、一人一人が賢くあり、免疫力、自己治癒力を高める事が大切であると気づきました。

自己治癒力を高めるためには、自然な生き方、自然な考え方が大事です。自然がベースになれば病気は去り、人は健康になつて行きます。自然とかけ離れ、自然に生きることが何からなくなつた現代の日本人に「ZENホメオパシー」はこういった日本人を自覚めさせ、本来の自分、真の生き方を取り戻すための療法で

ありCHhomではそのための奥義を学ぶことができます。

クライアントの体だけでなく心と魂を救済することがホメオパスにとって必要不可欠です。由井先生は言います。「人間は体・心・魂の三位一体です。体と心と魂は繋がっている体の病気だけを治しても心の病気（インナーチャイルド＝未解決な感情）と魂の病気（この世的価値観によつて曇つた魂）を癒さない限り、根本解決にはならず、それは真の治療とは言えません。ですからホメオパシーを中心に、インナーチャイルド癒しや食事療法などを取り入れ、体と心、魂の病気まで癒せるホメオパスを育てる事を目指した学校を作りました。それがCHhomです。」

由井先生が考えるホメオパスにとって大切な素地に「謙虚」「感謝」「利他」があります。ホメオパスがこの素地を作るためには、信仰心を持ち靈性を上げる事が大切です。ホメパスがクライアントの自己治癒力を活

性させ病気治療を行うためには、まずはホメオパスが自身の自己治癒力を高めなくてははいけません。そのためにホメオパスは自分のインナーチャイルドを見つめ、癒し、信仰心を持ち、靈性を上げて行く。自らの取り組みを通して得た気づきや、自らの生き方をクライアントに示して行くのです。

このようなホメオパスにとつて大切な人間作りをCHhomでは行います。ホメオパシーの知識を学べるだけでなく、人間を学び、人間を作る、ZENホメオパシーが学べるのがこの学校の特徴です。

「赦しと感謝を育てるCHhom」
ZENホメオパシーで幸せになり
ましょう。

世界で唯一無二の生きた学び 由井先生の相談会

CHhomでは、学生・ホメオパスが由井先生による相談会をライブ見学する事ができ、この中でプロのホメオパスによる臨床のケーステイクの仕方を学びます。こういったケースをライブで公開するホメオパスは世界中でもほとんどいません。これまで30年もの間、多くの方々の体・心・魂を三位一体で治療に導いて来た由井先生だからこそできる大変貴重なものです。これこそCHhomが誇る「生きた学び」と言えるでしょう。由井先生がクライアントに寄り添い、投げかける言葉の一つ一つはクライアントだけでなく、見学する学生・ホメオパスの心と魂の琴線にも触れ、そして震える程の大きな感動と共に自分自身に気づきが起きます。これが三位一体で感じる生きた学びです。由井先生の深い解剖・病理・生理の理解と

ホメオパシーの知恵、食や農業、ハーブ療法、栄養学などの観点からの食養生の指示、クライアントの人生と家庭環境から紐解き核心を掴むインナーチャイルド癒しの実践、そして、病気の原因をクライアントの先祖や過去世まで遡りカルマの問題を伝える霊的な見解に基づいた深淵な魂レベルでの霊的治療に至っては由井先生にしかできないものであり、由井先生から学べる唯一無二のものと言えるでしょう。CHhomではこのように人を真に癒すための統合的なホメオパシー治療を由井先生の相談会を通して学ぶことができます。

由井先生が行う相談会は今後いつまでもあるとは限りません。今、この貴重な機会に学生・ホメオパスはライブでこの生きた学びを体験してください。

(参考) ホメオパシーの健康相談会について

ホメオパシーの健康相談では、日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)認定のプロフェッショナルホメオパスが様々な心、体の症状の対応の健康相談を行っています。たとえば、怪我や事故などの急性症状から、花粉症やアトピー、うつやパニックなどの慢性症状、自己免疫疾患やガンなどの難病などあらゆる体や心の症状のご相談を頂いております。

忙しい日々を追われ、心身ともに疲れている方、子育てや職場のストレスにお悩みの方、妊娠、育児にお悩みの方、ペットのケアの相談に至るまでホメオパシーは心と体の健康に関する多様なニーズにお応えしています。皆様が自分らしさを取り戻せるようにホメオパスがお手伝いします。ご興味のある方はJPHMA認定ホメオパスの健康相談会のご利用をお願いします。



由井寅子 CHhom 名誉学長によるホメオパシー健康相談会

健康相談会お申し込みはこちら▼



ZENホメオパシーとは

ZENホメオパシーとは、
ハーネマンの教えをベ
スとし、体・心・魂を三
位一体で治療するホメオ
パシーの三次元治療に、
食の改善、インナーチャ
イルド癒し、信仰心の向
上を取り入れ総合的に
体・心・魂を治療する
アプローチです。



由井先生の30年の臨床経験を通し
て到達したZENホメオパシーは、

1、体を健康にするために食生活を
正す。

- ・自然農の作物を食べる
- ・規則正しい生活をする
- ・不自然なものを体に入れない

2、心を健康にするためにインナー
チャイルド癒しをする。

欲である未解決な感情（インナー
チャイルド）を解放する

3、魂を健康にするためにこの世的
価値観（善悪のある価値観）を解放
し、愛せる範囲を広げる。

善悪で人や自分を裁くことを止め、
駄目な人や自分を受け入れ、許し、
愛する

4、心と魂に喜びをもたらすために、
信仰心を高める。

信仰心とは、生かされていることへ
の感謝と尊敬の心であり、生かされ
ていることに気づけば気づくほど、
感謝と敬いの心が増える

5、心と魂を健康にするために霊性
生活をする。

感謝・謙虚・寛容・尊敬・信仰心・
慈悲・心・利他の心をもって生きる

6、1〜5をサポートするために、
ホメオパシーのレメディ、マザー
チンクチャーを選択する。

特に、心や魂にも届く、霊水や聖地
のレメディを使う

7、1〜5のサポートと体・心・魂
の浄化のために祝詞・心経を唱える。

人は、過去世の意識、先祖の意識、
本人や先祖のカルマ、あるいは、
障りの影響によって、体・心・魂
が曇ってしまう。その曇りを取り、
浄化するために祝詞・心経を唱え

ることが有効

以上がZENホメオパシーの根幹を
なすものです。

皆さんは、4の信仰心を高める、5
の霊性生活をする、7の祝詞・心経
を唱えるというところを疑問に思う
かもしれません。しかし、私たちは
潜在意識に膨大な過去世の意識、先
祖の意識、カルマを抱えており、積
極的に心と魂を磨いていくことが生
きる目的としてあります。

皆さん、目に見えるものだけを治
療するのではなく、人の最終的な
目的、悟りの世界へ行くための導
き手、そのようなホメオパスを目
指しませんか。

名誉学長挨拶

治療家は

人の命を扱う仕事であるがゆえに

愛なくしては行えない

由中 実子



ゆいとらこ Torako Yui

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー CHhom 名誉学長
一般財団法人 日本ホメオパシー財団
日本ホメオパシー医学協会 JPHMA 名誉会長

自己治療力を使い 自ら治るホメオパシー

未解決な問題を浮上させ浄化し、自分本来の命を取り戻すための治療法であることを覚りました。

私は自身の辛い潰瘍性大腸炎がホメオパシー治療によって治癒した体験があります。ホメオパシー治療の根幹であるレメディー（原物質を希釈振盪して作られる）の刺激によって自己治療力が触発され、急性症状（高熱と体の痛み）を出して潰瘍性大腸炎は治癒していったのです。この高熱と体の痛みは二十六年歳の時のインフルエンザの急性症状で、薬で抑圧したために未解決となっていたものです。同時に当時抑圧していた怒りや悲しみの感情もどつと出てきて辛かったです。怒って泣いてを繰り返す中で心が軽くなったのを実感しました。体だけでなく心が生き生きとしてきたのです。この体験は私を大きく変えました。体の症状も心の症状（感情）も未解決なものは浮上しなければ、流して浄化することもできません。ホメオパシーは自己治療力を刺激し、

それから私は英国のホメオパシーの学校に五年間通い、認定ホメオパスとなり、ホメオパシー療法の専門家となりました。すぐに私一人では多くのクライアアントに対応できなくなり、日本でホメオパスを育成するために、CHhomの前身であるロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー（RAH）を開学、十三年間運営し、五〇〇名以上のホメオパスを輩出しました。そして二〇一〇年、ホメオパシーの限界を突破するために、ホメオパシーの原点（ハーネマンの原典）に立ち返り、それを土台として現代の難病にも適応できるZENホメオパシーを教えるためにCHhomを設立しました。

私が感じていたホメオパシーの限界とは、クライアアントの病気が治っても再発して戻ってくることで、難病のクライアアントが治癒していかないということでした。その中で分かった

ことは、現在、世界中で行われているホメオパシー（クラシカルホメオパシーも）がハーネマンの教えをベースにしているということ、そして病氣治療には、霊性の教育やインナーチャイルド癒しの教育が必要不可欠であるということです。さらに、現代医学の病理学・生理学・解剖学にも力を入れる必要を感じました。

私は小さい頃に「頑張らない者はダメ」と親から常に教え込まれていたために、大人になってからその価値観で体がポロポロになるまで働き、体が辛い時も薬をとって頑張りが辛い時も弱音を吐かず頑張り、自分を大事にしてあげなかった結果、ついに潰瘍性大腸炎になったのです。私は潰瘍性大腸炎をホメオパシーで治していただいたことをきっかけに自分自身の生き方、考え方の間違いに気づき、心の問題の根源であるインナーチャイルド癒し（感情の解放と価値観の解放）に取り組みました。これまで母に愛されたい一

心で優秀になろうと頑張ってきたインチャに気づき、他者に母を投影し、怒り、悲しみ、恐れていたことに気づき、母への未解決な感情を一つひとつ解放していく作業をしました。母に何度も殺されかけた私にとってこの作業は本当に辛く苦しいものでした。今も継続してやっている最中です。

感情というものは思い通りにならない状況で生じる強い願いであり、ストレスです。インナーチャイルドという慢性的なストレスの存在が急性のストレスを作り出しています。ストレス時は交感神経優位になって筋肉が硬直し血の流れが悪くなり、ア系から解糖系に移り、著しく非効率になり、その結果ミネラルを無駄に使い果たすこととなります。このように、ストレスが体の病気を作り出しています。体の症状を薬で抑圧することで医原病が生じますが、感情を抑圧することで心の慢性病（インナーチャイルド）が形成され、心

の病気が体の病気を作るという構図があるのです。

感情を生じさせる大元は価値観です。私は「女はダメだ」「頑張らない者はダメだ」「貧乏はダメだ」などの母の価値観を生き、自分を貶め（おとし）る生き方をしていました。自分自身を生き抜くために、母の価値観を解放していく作業をしました。こちらも、一筋縄では行きませんでした。が、ダメな自分を認め、受け入れ、許し、愛することを繰り返してやってくなかく、徐々に価値観を緩めることができました。

結局、感情が乱れる出来事、嫌な出来事、辛く苦しい出来事、それらの出来事を辛く苦しいものにしていくのは、自分自身の心（インナーチャイルド）であり、自分自身の心を映す鏡として感情が乱れる出来事が生じるのだということが分かりました。人生（運命）そのものがホメオパシー治療（同種療法）だったので、辛く苦しい出来事は、ダメな自分を

許すために必要な出来事であり、本当にありがたいものであると理解し、一つひとつ受け入れていくことをやっているうちに私の心に本当の平安が訪れたのです。この体験が、体と心と魂は繋がっていて、体の病氣だけを治しても心の病氣（インナーチャイルド）と魂の病氣（この世的価値観）を癒さない限り、根本解決にはならないのだということを実感したのです。

確かにホメオパシーは感情の解放を推し進め、ときに価値観の解放をも推し進めますが、残念ながらどちらも一時的なものにならざるを得ません。なぜなら、大元のインナーチャイルドを見つけない限り、インナーチャイルドが癒されることはなく、インナーチャイルドが存在する以上、苦しみが付きまとうからです。しかし、インナーチャイルド癒しをするためのツールとしてホメオパシーを利用したならば、つまりホメオパシーを利用して意識的に感情の解放とこの

世的価値観の解放を推し進めることができたなら、確実にインナーチャイルド癒しを加速させることができま

す。また、私たちが食べた物から私たちの体は創られます。ですから、食べ物が悪ければ、それが直接的に体を病気にしてしまいますので、幾らホメオパシーのレメディーをとっても健康になることはありません。体の健康作りの基本は、よい食事です。

そしてそれは、自然な種と自然な土、農薬や化学肥料を使わない自然な農業でできた自然な作物からもたらされると信じています。よい食事をするという土台があつて初めてレメディーの効果は上がるのです。現代人は予防接種や薬、農薬や化学肥料漬けの作物、遺伝子組換え種や雄性不稔種から作られる不自然な作物、化学調味料、人工甘味料などの食品添加物など不自然なものが大量に体内に入り、またそれら食品のミネラル不足によって体の病気になっている人が多いのではないかと考えるよう

になりました。

このようにして「人間は体・心・魂の三位一体である」ということを念頭に、ホメオパシーを中心とし、インナーチャイルド癒しや食事療法、ハーブ療法など他の方法も取り入れ、体と心、そして魂の病気まで癒せるホメオパスを育てることを目指した学校を新たに作ることを決意しました。それがCHom・ホメオパシー統合医療専門学校です。

病気が一番の大元は自分自身を愛せないことです。患者は意識的、無意識的に自分をダメだと責めるインナーチャイルドがいるから病気になったのですから、治癒するためにはダメな自分を受け入れなければなりません。患者がダメな自分を受け入れられるようになるためには、治療家の無条件の愛が何よりも必要なのです。愛が治療家の土台です。その土台の上にホメオパシーもあるのです。ホメオパスを目指す皆様には、愛の力を増やしてほしいと願っております。感情が乱れる毎に、な

ぜ腹が立つのか、なぜ悲しく死にたくなるのかを自分に問いかけるのです。原因は外にはありません。怒って泣いている自分に声をかけ、慰め、そしてその価値観は正しいのかを考え、そしてダメな自分でも許すことで、私たちは愛ある人間になれるのです。そして人生を幸せに生きられるようになります。それらの体験こそが治療家としてクライアントに寄り添うことができる素質となります。ですから、CHomではホメオパシーだけでなく、自分を愛し、人を愛し、自然を愛せるようになるための教育を情熱と愛をもって行っております。

また、魂の健康を取り戻すために不自然な価値観（この世的価値観）の解放が重要であることはすでに述べた通りですが、自然な価値観（霊的価値観）、何を信じるかという部分で、宗教ではなく、信仰心は大切だと思っております。信仰心は自分より偉大な存在（神や仏）がいることを信じ、生かされている理を知り、

謙虚に感謝をもって生きる源だと思えます。自然の偉大さ、太陽の偉大さを感じられないとしたら、それは私たち自身がもっている大切なものを見失ってしまったということなのです。私は私たちの中に偉大な存在と同じ、高邁な理想をもった魂が宿っていると信じています。それが証拠に花を見て美しいと思ひ、大自然に畏怖し、太陽に感謝するのです。それはそこに自分自身の本質を見ているということなのです。自分本来の命を生きる上で信仰心はとても大切であると考えています。

ホメオパス自身のインナーチャイルドを癒し、この世的価値観を解放し、生き方、考え方を正し、信仰心を高め、ひいては霊性を高め、魂・心・体を一体として統合的に治癒に導いてゆくことのできる大きな器のホメオパスになられることを心から願っております。

教育理念

ホメオパスは自らの心を開いて、苦しんでいるクライアントに寄り添い、体・心・魂の三位一体でその人を治療に導く職業です。

そのためには、ホメオパス自身が自分を見つめ、傷ついたインナーチャイルドを癒し、間違ったこだわりや価値観を手放し、自らの靈性を向上させていくことが必要になります。そうすることで初めてクライアントの苦しみに共感できるからです。人を癒すためにはまず自分を癒すことが大切なのです。

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (C H o m) ではホメオパシーの学びだけでなく、由井先生とともに学生一人一人が、自分自身の心に問いかけ自分を癒して行く体験と気づきを分かち合うインナーチャイルド癒しの学びや、

それぞれの人生をより良く生きるための靈性の向上の学びが盛り込まれております。このような学びは他の学校にはない C H o m 独自のものとなります。

C H o m の教科書は、ホメオパシー創始者であるサミュエル・ハーネマンの著書『医師のオルガノン第六版』、『慢性病論 第2版』、『マテリア・メディカ』などでホメオパシーの基礎原理を学びます。これらは由井先生監修の下、複数名の翻訳者達によって古典ドイツ語から直接日本語へと忠実に翻訳されたものです。ハーネマンの遺したホメオパシー哲学の書を正しく日本語で読むことができるのもこの学校の誇れる点の一つです。

『マテリア・メディカ』の授業では、レメディーの原材料となる植物、動物、鉱物などの特徴や性質、さらにそれらの靈的本質について学びます。また、そのレメディーを使って心身の症状が改善された

ケースの紹介や演習を行うことで、より実践的に学ぶことができます。

原理を基本とする『オルガノン講読』の授業では、書籍『医師のオルガノン』を由井先生による解説を交えながらハーネマンの考え方や実践の変遷が読み解きます。(テキストは第1版から6版までのどの時代に書かれたのが分かるようになっています。)パラグラフ(段落)毎にハーネマンの考えを当時の歴史的背景も考慮しながら解説して行きます。

『慢性病論』の授業では、先祖から現代へと受け継がれた病気のかかる傾向であり、慢性病の大元である「慢性マヤズム」について学び、ホメオパシーでの「マヤズム治療」を教えます。

現代には予防接種や薬などから来る「医原病」、食事から来る「食原病」、環境から来る「環境病」、インナーチャイルドや間違った価値観から来る「自己卑下病」「罪悪感

病」など様々な難病が蔓延しています。これらの現代病への対処として、由井先生が考案したホメオパシーのメソッド「三次元処方」を学ぶだけでなく、食養生の知恵やインナーチャイルド癒しと靈性を向上するための学びを加えた由井先生の「ZENホメオパシー」を勉強していきます。

多くの授業の中で由井先生のケースティクを学ぶ機会があり、そこでクライアントをどのように観察し、質問し、言葉のレメディーをかけるのか、そしてクライアントに必要なレメディーをどのように選択していくのかがとてもよく分かる生きた学びが得られます。

C H o m ではホメオパシーの理論と実践を学びながら、ホメオパスに必要な技術や感性を養うだけでなく、魂のホメオパスにとって最も必要な心のあり方や靈性の向上を4年間で身につけて行くのです。

沿革

日本で初めてのホメオパシー専門校であり、多くのプロフェッショナルナルホメオパスを輩出している、歴史と実績を兼ね備えたホメオパシーの名門校です。

プロフェッショナルコース在生 178名
RAH・CHhom 卒業生 1200名
(2023年9月現在)

日本初のホメオパシー専門校ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー (RAH) として設立。20年におよぶ歴史と実績をもち、14年目(2010年5月)にホメオパシー統合医療専門学校カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (CHhom) として新たに出発。

一九九七年	四月	ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー (RAH) 東京校 (パートタイムコース三年制) 開校
一九九八年	四月	日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) が設立し、RAH が認定校となる
一九九九年	四月	英国ホメオパシー医学協会 (HMA) 認定校となる
二〇〇〇年	三月	RAH 一期生卒業 英国より HMA 試験官を招き、第一回 HMA 認定試験を在日英国大使館で実施。RAH 卒業生から初の HMA 認定ホメオパス誕生
二〇〇二年	四月	RAH パートタイムコースが四年制に移行 RAH 福岡校開校
二〇〇三年	四月	RAH TV 同時中継システムを使った講義を取り入れる
二〇〇四年	四月	RAH 大阪校開校
二〇〇四年	十月	RAH が英国認定ホメオパス連合 (ARRH) 受験資格認定校となる
二〇〇五年	一月	RAH が英国全ホメオパス統合協会 (CORH) 容認校となる
二〇〇五年	五月	RAH アニマルホメオパス養成コース開講
二〇〇六年	五月	英国教育技能省 (DfES) に RAH 英国本校が認可される
二〇〇六年	九月	JPHMA がホメオパシー国際評議会 (ICH) のメンバーとなり、ホメオパスの職業保険運用により JPHMA ホメオパス認定制度が実現。RAH 卒業生から JPHMA 認定ホメオパスが誕生
二〇〇六年	九月	RAH 英国本校開校 RAH 英国フルタイムコース・日本フルタイムコース・イブニングコース開講 RAH 札幌校、京都校開校
二〇〇七年	四月	RAH 名古屋校開校
二〇〇七年	八月	RAH 仙台、鹿児島、金沢分校開校
二〇〇八年	四月	RAH 沖縄校開校
二〇〇八年	六月	日本ホメオパシー財団設立
二〇〇九年	十一月	より統合的に人間を治癒に導くために、ホメオパシーが中心だった RAH からインナーチャイルド癒し、霊性の向上も含めたホメオパシー統合医療専門学校カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー (CHhom) 東京、札幌、名古屋、京都、大阪、福岡、沖縄校 同時開校
二〇一〇年	五月	CHhom ファミリーホメオパス養成コース開講
二〇一一年	五月	プロフェッショナル及びファミリーホメオパス養成コース、RAH 卒業生フォローアップコースの eラーニング配信が始まる。また、eラーニング配信に伴い、東京校、札幌校、名古屋校、大阪校、福岡校のみに集約
二〇一一年	七月	CHhom ファミリーホメオパス養成コース1期生卒業。初の一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定ファミリーホメオパス・ホームキットアドバイザー誕生
二〇一二年	十月	CHhom インナーチャイルドセラピスト養成コース開講
二〇一三年	六月	ZENホメオパシーの認定がスタート
二〇一三年	十一月	インナーチャイルドセラピスト養成コース eラーニング配信が始まる。初の一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定インナーチャイルドセラピスト誕生
二〇一四年	三月	CHhom プロフェッショナルホメオパス養成コース 1期生卒業
二〇二二年	六月	全コース eラーニング化

Chhomで学ぶようばい

現代におけるさまざまな難病にも適応できるZENホメオパシーを学び、統合医療家を目指す。

治療家になるために必要なことは何でしょうか？

Chhom事務局（以下事務局）… どのような治療家においても最も大切なことは、自分を見つめ、自分を癒せたかどうかです。自分の中にいる愛されず傷ついたインナーチャイルドを認め受け入れ愛することが自分を癒すことであり、自分を癒せた者だけが人を認め受け入れ愛することができます。家の資質であると考えます。ですからChhomでは、折々に自分を見つめる機会を設け、インナーチャイルド癒

しの授業も取り入れていきます。今、なぜホメオパシー統合医療専門学校Chhomなのか？

事務局… 難病の多い現代日本の状況に対応できる、精鋭のホメオパスを輩出するためには、よりホメオパシーの専門性の高い人材を育てる必要があります。また、体、心、魂の病気をさまざまな角度から治療に導いていくためには、ホメオパシーに加えて、魂を傷つけるこの世的価値観を解放するインナーチャイルド癒しなども統合して、人間を物質的な体だけでなく目に見えない心をどう癒すか体系的に

学ぶことが重要になります。ホメオパシーおよびホリスティックの授業内容をさらに充実し、より深く学べるようにした、名実ともに本格的なホメオパシーの統合医療校がChhomなのです。これは世界に類のない現代人に合わせた「オンリーワンの特長」が数多くあります。

Chhomの「オンリーワンの特長」とは何ですか？そして、ZENホメオパシーとは何でしょうか？

事務局… 数多くありますので、そのうち、いくつか代表的なものをご紹介します。

ホメオパシー統合医療



*オプション授業は有料となります。

①プロのホメオパスの正式な資格。現代の難病（医原病、食原病、インナーチャイルド、そして信念の病気）を治療に導く世界最先端のZENホメオパシーメソッドを習得します。

②ホメオパシーを、現代西洋医学と同じ国の第一医学として推進する世界最大のホメオパシー大国・インド政府A Y U S H（伝統医学省）のホメオパシー部門との協力関係の下、ホメオパシー医学を推進

③ J P H M A の認定ホメオパスになるとホメオパスの職業保険に加入。ホメオパシー職業保険に入ること、そのプロであると言えます。

④ホメオパシーの創始者であるハーネマンの基本原理をしっかりと学ぶことができる学校。ハーネマンなくしてホメオパシーはありません。Chhomでは、ハーネマン著作の原典（ドイツ語）から直接日本語訳したテキストを用いて教えています。ハーネマンの文章が難しいところは一つひとつ解説していきます。



⑤ホメオパスとして実践と研究を積み重ねた講師陣。

Chomでは、ZENホメオパシーを確立し、その第一人者の由井寅子先生をはじめ、医原病、難治疾患の治療において最先端のZENホメオパシーを習得した実践経験の豊富なJPHMA認定ホメオパスを講師に学びます。

現代医学の救急救命や病理・生理、解剖、助産学、薬学、薬草学などの分野では国内の専門講師を招聘して学びます。RAH時代を含め、100名以上の海外講師を招聘して学んできており、がんなど様々な疾患へ有効なホメオパシー標準処方であるバナジープロトコルを確立したインド・コルコタのバナジー父子、インド政府ホメオパシーリサーチ

中央評議会長官で、皮膚疾患へのホメオパシーの治療についてのホメオパス向けのテキストをつくったRKマンチャンドラ博士をはじめ、クラシカルのケント派からハーネマン

に戻るためにハーネマン研究者でもあるカナダのルディー・バースパー氏、オランダのエワルト・ストットラー氏、オーストラリアのジョージ・デイトリアデイス氏などを招聘し、ハーネマンのホメオパシーを徹底して学びました。また、現代医学のアロパシー医であり、鍼灸師として、スピリチュアリストとして活動するホメオパス、ユブラジ・シャルマ氏、フランスの小児科医ホメオパスのジェルジュ・グランジョージ氏からは霊的ホメオパシーを学びました。そして、予防接種の問題を紐解くホメオパシー生化学者のトレバー・ガン氏の教えは多くの学生たちに衝撃を与えまし

た。**Chom**は様々な分野で実践や成功例を持つホメオパスの方々を招聘し、ありとあらゆる問題にも対応できるホメオパシーを導入しました。

⑥病気の原因が心の苦しみから来る。そこを徹底して網羅するために、そして、より日本人にホメオパシーが適応し効果が上がるように、日本人の心の癖である罪悪感や、自己卑下をする傾向を減らすことを目的としたインナーチャイルドの癒しを教育するコースを作りました。これはホメオパシーを三次元処方を使い病気を治しても心が怒りや悲しみ、恐れから逃れない場合、また同じ病気が戻ってくることで分かりました。心の傷（インナーチャイルド）を治さねば病気は去ることがないことが多くのクライアントを通して分かるからです。ホメオパシーでは心の感情を修復で

きてもその感情を出させた価値観（信念）は治すことができないのです。そこは意図的に自分を見つめその価値観で裁かれ泣いている自分（インチャ）に優しく声をかけ慰めてあげるまで癒えることはないので。生きにくく思っている人、人間関係がうまくいかない人にとってはインナーチャイルド癒しはよりよく幸せに生きるために必須となるでしょう。

⑦霊性を上げることが目的とした授業。病気の原因は神因から来ることもあるということです。私たちは生きているのではなく生かされていることを自覚し信仰心を高め、日々感謝と和をもって生きるために自分に起きたその時は苦しいと思える出来事でも自分に必要があつてこの出来事が起きたのだと受け取れる哲学を身につけることです。そのためにこの世の見方。この出来

事はありがたいに変えていけることができるようになります。そのためにも神仏に守られ生かされていることを知り感謝と謙虚さを取り戻し幸せに生きてほしいと願うのです。

「ハーネマンの原点に戻り、学んでいく…」とは、具体的にどのようなことでしょうか？

事務局…ホメオパシーは、二〇〇年前ドイツで、サミュエル・ハーネマンによって体系化された現代医学とは別の医学です。ホメオパシーの原点はハーネマンにあり、ホメオパシーを学ぶということは、すなわちハーネマンに学ぶことです。**Chom**では、真のホメオパシー医学を身につけるために、ホメオパシーの祖であるサミュエル・ハーネマンの原典から、「ハーネマンが真に何を伝えたかったのか」をしつかりと学びます。ハー

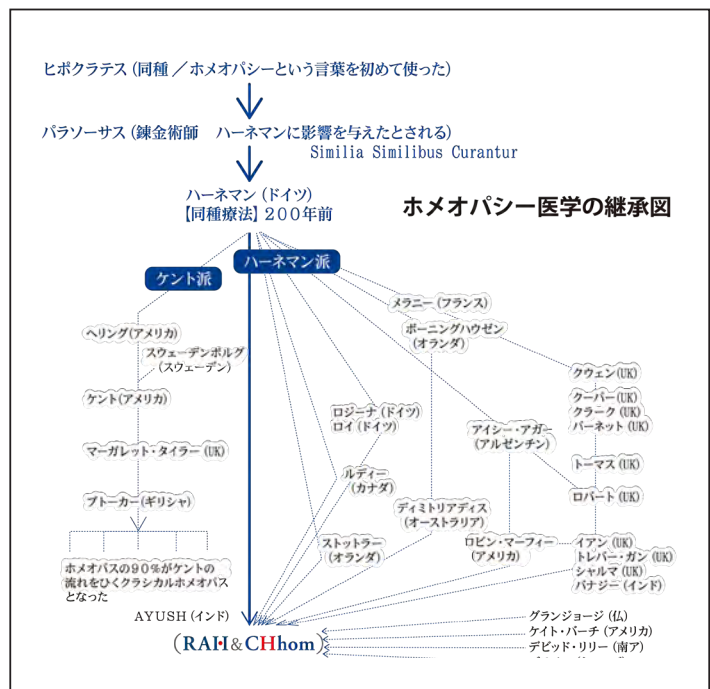


右からCHhomの教科書
 ●ボニングハウゼン・レパートリー
 ●マテリア・メディカ・プーラ
 ●慢性病論マテリア・メディカ
 サミュエル・ハーネマン著
 慢性病論〈第二版〉
 医術のオルガノン〈第六版〉

ネマン以降の二〇〇年間を通して、ハーネマンの原典の誤った翻訳や、後世のホメオパスたちの誤った解釈を基にホメオパシーが広まってきました。そのためにホメオパシー医学の発展が停滞し、現代のホメオパスの治療率低下の大きな一因となっていると考えられます。その意味からも、ハーネマンの原典に立ち返り基礎を学ぶことがとても大切なことなのです。例えば、合気道でも空手でも師範から基礎をしっかりと学ばなければ、ある段階でそれ以上の上達が望めなくなるのと同じです。正しい知識（基礎）を習得した者だけが応用することができるのです。

具体的には、ホメオパシーの基本原理が書かれた「医術のオルガノン第六版」、レメディの実証結果が書かれた「マテリア・メディカ・プーラ」、「慢性病のマテリア・メディカ」、これらのマテリア・メディカから忠実につくられたレパートリー（症状からレメディを探るための書）である「ボニングハウゼンのレパートリー（TB R）」、そして慢性病を治すための指標となる慢性病論などをCHhomの教科書として使用します。

さらに、ハーネマン研究では最先端を行くオランダのエワルト・ストットラー氏、カナダのルディー・バースパー氏、オーストラリアのジョージ・ディミトリアディス氏との連携のもと、ホメオパシーの土台となるハーネマンの著作に基づき、基本原理、マテリア・メディカを忠実に、深く教えます。その上で日本にあつた三次元処方完成しました。それは、由井先生が十年かけて、様々な方法をクラリアントに施し、体験的に一番良く治療に導いた方法か？



三次元処方です。CHhomはハーネマンを復興させ、真実のホメオパシーを学べる世界でも数少ない学校と言えるでしょう。
事務局…セルフケアのための勉強であれば少ない時間でよいでしょうが、プロフェッショナルホメオパスの精鋭を輩出するためには、授業内容の充実が不可欠です。ホメオパシー医学は、現代医学とは症状へのアプローチが正反対の医学体系であるため、常識とは正

反対の知識や価値観、さらに新しい言葉や概念を受け入れ学んでいく姿勢が大切です。そうしてハーネマンが真に何を伝えようとしていたのかを理解し、ホメオパシーの基本、考え方を時間をかけてしっかりと身につけることが大切です。またホメオパスは人の命を預かる職業ですから、自己の人的な成長なくしてクライアントをしっかりと見ていくことはできません。クライアントの言動を偏見を持たずに聞き、事実をしっかりと見



極めること、さらには、己の心を鎮め、自己の感情に振り回されることなく、相手を受け入れていけるようになることがとても大切になります。このような人的成長を果たし、学びが成熟されていくには時間が必要であり、ホメオパシー医学、さらに他の自然療法を学び、統合的に自己治療力を触発し、治療に導けるホメオパスとなるように日々、切磋琢磨していくことが大切になります。

eラーニングによる自宅学習で学ぶことができる新コースを作ったのはなぜですか？

事務局…二〇二一年の日本の大震災からも推察できるように、地球規模での地震、天災等、不測の事態がいつ起こっても不思議ではない時代に突入しています。さまざまな方法をクライアントに試し体験的に

一番良く治療に導いた方法、三次元処方です。そのような状況になってもホメオパシーを学びたい方が継続して学んでいけるようにホメオパシーの学校が存続していけるように学ぶ環境を多様化し、インターネットで学べるeラーニング環境あるいは通信教育でテキストのみで学べる環境を作っていくように見直しを行うこととしました。

また、eラーニングを導入することにより、学びたいが遠隔地のため学校に通うことができないという方々のご要望にも応えることができ、全国津々浦々の方々、海外の方々も学べることとなります。

入学試験、進級試験、卒業試験をなぜ行っているのですか？

事務局…CHhomは、「ホメオパシーが西洋医学・アー

ユルヴェーダと並んで第一医学である」インドのホメオパシー大学のように、本気で本格的に学ぶ学校で、プロのホメオパスを育成しています。そのため、CHhomにおいては、まず、教える内容を充実させています。

次にプロのホメオパスとして活動していくためには、素養とホメオパシーに取り組む意欲、知識、実践が必要となってきます。そのためCHhomでは、入学の時点で入学試験を行い、入学される方の適正等を確認させていただきます。その後、知識、実践を修得するために、自らの学びの強み、弱みを確認し、今後に反映していただくために試験を行っています。

CHhomを卒業するなどのような資格がとれますか？

事務局…CHhomを卒業す

るとプロのホメオパスの正式な資格を取得するために必要な、一般財団法人日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定試験受験資格が得られます。

また、CHhomにおいて、定められた授業単位を修得し、卒業後、定められた認定試験に合格すると新たな資格が付与されます。付与される資格は以下のとおりです。

- ・JPHMA認定ホメオパス(同種療法士)
- ・ホメオパシー統合医療アドバイザー

- ・JPHMA認定アニマルホメオパス(動物同種療法士)

なお、新たな資格の取得にあたっては、現代医学の解剖・生理・病理、ホメオパシーの



JPHMA ホームオパス認定証

病理・生理、ホームオパシーをしっかりと身につけることが基本であり、資格取得の前提となります。

卒業してホームオパスとして自立するためには何が大切ですか？

事務局…ホームオパスとして自立するために、いくつかの大切なことがあります。

一、治療に導けるプロのホームオパスになることが大切です。

そのために **CHhom** では、事実・実践重視の教育を行い、治療に導ける実力のあるホームオパスを育成します。ちなみに、事実・実践重視の教育は授業にいろいろと組み込まれています。たとえば、三、四年次に授業以外にケーススタディー○○ケース相当以上を見ていただきます。ホームオパシーの実践にあたっては実際のケースを数多く見ることが大切であり、**CHhom** では由井先生を含めプロホームオパスの実践ケースを○○○○ケース相当以上から学んでい

ただく機会を準備しています。

二、ひとりひとりがホームオパスとしての資質を養うことが大切です。

ホームオパスは、自己の人間的な成長なくして、クライアントの方々をしつかり見ていくことはできません。自分と異なる意見や見識に出会っても相手を受け入れる姿勢あるいは訓練も必要となります。そして、人は誰しも、インナーチャイルドを抱えているということを理解することです。インナーチャイルドは、人とのコミュニケーション、人間関係、自分の見方、人の見方や自己実現、病気など社会生活を営む上で、大きな影響があります。またインナーチャイルドが癒えていないと人生の数々の障害、困難を乗り越えて行くことが困難になるだけでなく、自己成長ができず

にとどまってしまう。したがって、インナーチャイルドの癒しを自発的に行っていくことは大切なことです。「すべての原因は外になく内にあります。」ゆえに自分を見つめること(内観)も大事なのです。なお、**CHhom** では、授業の中でもインナーチャイルドを扱い、実習なども行っています。

レメディー選択の根幹となるハーネマンの哲学、方法論を学び続け、また新しいメソッドも取り入れることにより、実際の健康相談においてクライアントの治癒率が向上しています。

CHhom は、事実、臨床、成果重視の学校であり、アカデミックで開かれた学風、指導方針をとっています。

三、ホームオパスとして自立される方は、忍耐を持ち、一生をかけてホームオパシーを学んでゆくという心構えが大事です。その意味からも、卒業後も学び続けることが大切です。

CHhom ではハーネマンの原典を徹底的に教えています。学生だけでなく、卒業したホームオパスも学べるしくみになっており、授業の聴講およびホームオパス向けの強化化学習も行っています。卒業後も

CHhomの特長

ハーネマンのホメオパシー哲学、基本原理を学ぶ

CHhomでは、歴史的に見てタイラー・ケントからホメオパシーを学ぶ継承の流れをハーネマンから直接学ぶ流れに軌道修正しています。ホメオパシー哲学、原理の授業では「ハーネマンが真に何を言いたかったか」を徹底的に学ぶホメオパシーの基礎を身につけていただきます。基礎ができて初めて、ホメオパシーを実践、応用することができます。



ホメオパシーの創始者
サムエル・ハーネマン

リマ・ハンドリー著
「晩年のハーネマン」
ホメオパシー出版刊



ハーネマンのマテリア・メディカを学ぶ

ドイツ語の原典から直接日本語に翻訳した教科書（オルガノン、慢性病論、MM等）より、ホメオパスとしての力量を左右する正確、精緻な情報に基づくレメディー選択手法を学びます。



由井寅子 編
TBR マテリア・メディカ+



CHhom 編
TBR 改訂クロスリファレンス拡張版



サムエル・ハーネマン 著
医術のオルガノン〈第六版〉



サムエル・ハーネマン 著
慢性病論〈第二版〉



ボーニングハウゼン

歴代のホメオパシーの先人達の知識、知恵から学ぶ

ハーネマンからホメオパシー原理を、ボーニングハウゼンからレパートリーを、バーネットからワクチン病を、パラソーサスから錬金術を、ラデマッチャーから臓器療法を、シュスラーから生命組織塩を、トムソンから薬草を、先人たちの知識、知恵から治す方法を学びます。



パラソーサス



ケーステイクの仕方とその分析を学ぶ

ケース研究・分析により、クライアントへの対応方法、レメディーの選択など、事実、実践を見て体感・体験します。

※ CHhom 直轄のホメオパシーセンター本部（東京・大阪）にて、ホメオパシー健康相談会を行っております。3 年次、4 年次には、由井先生や他のプロフェッショナルホメオパスの健康相談時に横に付いてケーススタディを行い、100 ケース相当以上の症例を

体験することが必修となります。4 年次には、ご自身でクライアントを選択し、五例の改善ケースを提出する必要があります。なお、四年間の在学中には、インナーチャイルドを癒すためにも自らもホメオパスにかかることをお勧めしています。



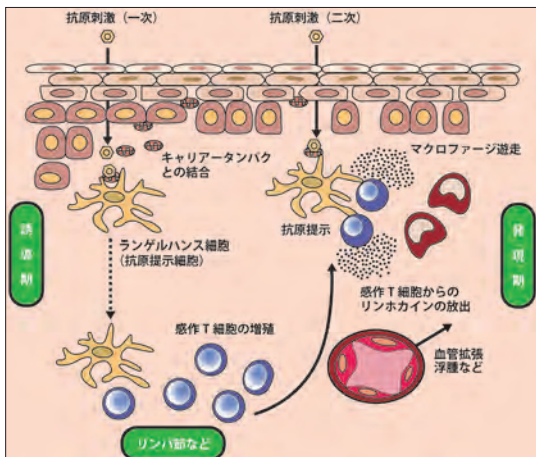
マヤズム病理を学ぶ

ホメオパシー的な観点での病気の考え方、マヤズムに関して、しっかり学びます。

※マヤズムは病気を作り出す土壌であり、すべての深い病気は最終的にはこのマヤズムから芽を出しているという考えがあります。



ジョアン・ゴットフリート・ラデマッチャー



病理・生理（アレルギーのしくみ）

症状からみる臓器の疾患を学ぶ

ドイツの医師、臓器療法を発案したラデマッチャーが確立したマザーチンクチャー学の実践的な使い方を学びます。

植物の生長するエネルギーが凝縮されたマザーチンクチャーは、弱った臓器、傷ついた臓器の新陳代謝を促し、人体の健康に有用であると言われています。

ホメオパシー病理・生理を学ぶ

現代医学の病理生理を学んだ上で、ホメオパシー的な観点での病理生理のとらえ方も学びます。また、ホメオパシーと現代医学の考え方の違いを学びます。

現代の難病治療としてのZENメソッドを学ぶ

医原病へのホメオパシー的対処を学ぶ

日本人はヨーロッパ人の 40 倍の抗生物質をとっているとされています。多くの薬をとり入れている日本人の現状に即し、医原病に対応したホメオパシーメソッドを学びます。

国際的な学会でもセンセーションを巻き起こした由井先生のZENメソッドを学びます。ZENメソッドとは、由井先生の開発したメソッドであり、医原病大国である日本国民に合ったアプローチです。ZENメソッドにより、多くの難病である自閉や奇形を治癒に導いています。



由井先生によるインナーチャイルドの授業より～触れる～

ホメオパスになるべく心の取り組みの実践 「インナーチャイルド」の癒し

ホメオパスになるべく心の取り組みを行っていくために、通常の授業の他にインナーチャイルドを見ていきます。心の教育や終末ケアのための死の教育などの授業により、自分のこだわりに気づく訓練を行っていきます。



酒向 猛 先生による現代医学・臨床病理の講義

現代医学（解剖生理・病理）を学ぶ

現代医学の基礎をしっかりと身につけます。解剖生理（人体の成り立ちと生理的動態）の他に、臨床病理（人体と病のメカニズムや症状）、救急医学（緊急性のある症状）を学び、人体構造、病気の進行を理解します。特に現代医学、解剖生理を理解することは、国の枠組みの中で責任を持った行動をとるためには必要不可欠となります。



小谷宗司 先生による日本の薬草学の講義

植物学・毒物学・薬草学を学ぶ

植物学・毒物学・薬草学も重要な学問です。特に薬草は、人体の健康維持に効果的に用いることのできる療法として重要です。CHhomではヨーロッパやアメリカに伝わる伝統的な薬草学を学ぶとともに、さらに日本古来の薬草学を小谷宗司先生から学びます。

ホメオパシー自然農法、薬草、ハーブ見学と収穫

静岡県函南の豊受自然農園にてホメオパシー自然農法で育った生命力に満ちた薬草、ハーブの生育やその環境を見学し、実体験します。



静岡県函南 秋の収穫祭



生命組織塩、栄養学を学ぶ

ドイツ人医師ホメオパス、ウィルヘルム・シュスラーが発案した生命組織塩（ティッシュソルト）について学びます。シュスラーは、病気は12種類の生命組織塩のいずれかの過不足によって生じ、生命組織塩のレメディーをとることで、身体本来の機能である不足ミネラルの吸収や過剰ミネラルの排出が促進され、崩れたミネラルバランスが整えられることで健康になることができると考えました。



ウィルヘルム・シュスラー

取得可能な資格とカリキュラム

— プロフェッショナルホメオパス養成コース4年制コース(eラーニング) —

プロフェッショナルホメオパス養成コースは、プロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの知識・技能および現代医学の基礎知識を学べる講座です。ホメオパシーに特化した授業を専門的に学べます。

また、ハーブ療法、フラワーエッセンスなどのホメオパシー統合医療の科目はオプション(有料)で学ぶこともできます。「ホメオパシー eラーニングコース」は日本全国、海外からも自宅にいながら都合のよい時間に学ぶことができます。

- 難病の多い現代日本の状況に対応可能な、「体・心・魂を癒す」プロフェッショナルホメオパスを養成します。
- 専門的なホメオパシーの講義に加えて、現代医学の基礎も学びます。
- 入学試験として筆記(一般教養+論文) および面談を実施します。
- 卒業した際には日本ホメオパシー財団日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)ホメオパス認定試験の受験資格を得ることができます。

表1に示しているように、4年制プロフェッショナルコースの必修の所定の授業を履修した際には「JPHMA 認定ホメオパス」の受験資格が取得できます。またオプションの所定の授業を履修した際には、「JPHMA 認定アニマルホメオパス」の受験資格が取得できます。「日本のフラワーエッセンス療法士」、「インナーチャイルド・セラピスト」の資格取得コースも準備しています。

表1. 4年制コースの必修、オプションの授業科目と取得可能な資格

* 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定試験合格により資格付与。

	ホメオパシー 基本理論を学ぶ	現代医学・ ホメオパシー病理学を 学ぶ	ホメオパシーの 実践および 統合医療を学ぶ	取得可能な資格
必修	ホメオパシー基礎、原理 ホメオパシー哲学 マテリア・メディカⅠ ホメオパシー方法論	現代解剖生理 現代臨床病理学 現代救急医学 現代薬理学 ホメオパシー病理学	ケーススタディー ホメオパシー助産学 関連法規 インナーチャイルド学	JPHMA認定ホメオパス
オプション	ホメオパシーセルフケア マテリア・メディカⅡ		海外スクーリング JPHMAコンGRES 動物のホメオパシー	JPHMA認定 アニマルホメオパス

コース概要

	取得可能資格
認定機関	一般財団法人 日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)
認定試験 受験資格	○本コース修了により、以下の受験資格取得「JPHMA認定ホメオパス(同種療法士)」 ○オプション授業(有料)を受講修了し、「JPHMA認定アニマルホメオパス(動物同種療法士)」 ※ なお、日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)の認定試験に合格により資格付与。 認定試験料は別途必要。

	入学金・授業料・教材費
入学金	初年度のみ 15万円
授業料	授業料1年間一括の場合 39万円 2回分割の場合、前期21.5万円/後期19.5万円
テキスト	・テキストは 豊受モールにて各自購入(授業料にはテキスト代含まず) ・4年間で約10万円

	カリキュラム
入学時期	6月開講、その後随時入学可能(但し、1年次の視聴可能期限は翌年5月末日まで)
修学期間	4年間(最短で2年で修了可能。トータルの授業料金は同じ)
年間授業日数 授業時間 カリキュラム	○1年次は年間30講義(講義数は学年により異なる)1回の講義はAM・PM各3時間 ○必修(授業料に含む) ホメオパシー基礎、哲学、オルガノン、慢性病論講読、マテリア・メディカI、ホメオパシー方法論、現代解剖生理、臨床病理学、現代救急医学、ホメオパシー病理学、インナーチャイルド、現代薬理学、ホメオパシー助産学、ケーステイク、関連法規等、その他 ○推奨 JPHMAコンGRES ○オプション授業(別途授業料要) マテリア・メディカII、ホメオパシーセルフケア、海外講師講義、オプション授業を受講される場合、1日の基本料金は12,000円程度 ただし、オプション授業は種別により、受講料金が異なる場合あり。 ○オプションコース(別途受講料要) アニマルホメオパスコース授業 なお、必修、オプションとも授業科目、内容は見直される場合あり。
短期2・3年 コースについて	●最短2年コース 1年目に1、2年次の授業をそれぞれ6か月で視聴 2年目に3、4年次の授業をそれぞれ6か月で視聴 ●3年コース 3、4年次は必修授業に加えて、ケーススタディー100ケース以上視聴、ケース提出のための健康相談の実施等が必要となりますので、3、4年次を6か月で対応するのは時間的に厳しいと思われるため、以下の受講を推奨します。 1年目に1、2年次の授業をそれぞれ6か月で視聴 2年目に3年次の授業を1年間で視聴 3年目に4年次の授業を1年間で視聴 短期コースを選択しても、授業料は4年分となります。

	その他
入学試験	筆記及び面談を Zoom、スカイプ、東京校、京都健康食生活で実施。
卒業の条件	以下の条件がそろった場合に、卒業可能。 ① 必修科目の全単位80%以上取得。 ② 在学中の進級・卒業試験、全てに合格。 ③ ケーススタディー100ケース相当以上視聴。
進級試験 卒業試験	自宅Web受験推奨。又は、東京校にて年間1回、5月に実施。
休学・復学	在学できる期間: 休学期間を含め入学から卒業まで8年。休学、復学は年単位での休学、復学可能。休学期間中は、一般扱いとなり、学生の特典は利用不可。
eラーニング による 自宅学習	講義は学生専用サイトにログインして 24 時間視聴可能。 講義を視聴するには、最新のブラウザ、オペレーティングシステム、安定したインターネット回線が必要です。圏外や電波が弱い場所ではないか、パケット残容量はあるかを必ず事前にご確認ください OS : Windows、Mac ブラウザ : Google chrome 推奨 デバイス : パソコン推奨 プリンター : 各種資料印刷の為に準備が必要 ● eラーニングの視聴の場合、ケース事例の映像は挿画や説明になる場合あり。 またケース映像、音声には、モザイクをかけたり、音声を変える場合あり。 ● eラーニングコース受講誓約書の提出必須。 ● 「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」 同意書の提出必要。
海外講師授業	オプションの授業として、東京校にて受講可能。
ケーススタディー	ホメオパスの健康相談会100ケース以上視聴が必要(1年次より配信)。
強化学習	プロフェッショナルコースの在学学生・卒業生・ホメオパス対象講義。 由井先生から最新のZEN メソッドを学び、ブラッシュアップします。
日本ホメオパシー 医学協会 JPHMAコンgres	JPHMA の年に一度の学術大会であり、全国各地で活躍する認定ホメオパスの改善事例のケース発表等実施。各種講演会講演、セミナーと合わせ 推奨授業の一環として、参加お勧め。
JPHMA会員	1年次から専門会員への加入推奨。 JPHMA入会特典 ①JPHMAコンgresへの会員料金参加可能。 ②JPHMAのジャーナル配布 ③各種講演会参加等の参加料金割引
学生特典	豊受モールでのお買い物で、対象商品15%ポイント付与 ※TOMMY ROSE 3%、日本豊受自然農5% 講演会料金の割引 学生向け限定商品の購入 (テキスト、TBR、QX-SCIO) オリジナルレメディの作成、購入

講師紹介

CHhomでは、ZENホメオパシーを確立し、その第一人者の由井寅子名誉学長をはじめ、医原病、難治疾患の治療において最先端のZENホメオパシーを習得した実践経験の豊富なJPHMA認定ホメオパスを講師に学びます。

現代医学の救急救命や病理・生理、解剖、助産学、薬学、薬草学などの分野では国内の専門講師を招聘して学びます。

RAH時代を含め、100名以上の海外講師を招聘して学んできており、癌など様々な疾患へ有効なホメオパシー標準処方であるバナジープロトコルを確立したインド・コルコタのホメオパス・バナジー父子、インド政府ホメオパシーリサーチ中央評議会長官で、皮膚

疾患へのホメオパシーの治療についてのホメオパス向けのテキストをつくったRKマンチャンド博士をはじめ、ハーネマン研究では、カナダのルディー・バースパー氏、オランダのエワルト・ストットラー氏、オーストラリアのジョージ・デイミトリアディス氏や、現代医学のアロパシー医、鍼灸師、スピリチュアリストとしての側面を持つホメオパス、ユブラジ・シャルマ氏、ホメオパシー生化学者のトレバー・ガン氏、フランスの小児科医ホメオパスのジェルジェ・グランジョージ氏をはじめ、様々な分野で実践や成功例を持つホメオパスの方々を招聘してきました。

由井寅子 ゆいとらこ

カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー CHhom 名誉学長
ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー RAH 名誉学長

日本ホメオパシー医学協会 (JPHMA) 名誉会長
一般財団法人 日本ホメオパシー財団 (JPHF) 理事長
日本ホメオパシーセンター 総センター長
農業生産法人 日本豊受自然農株式会社 代表取締役 社長・百姓
FHMA 【英国ホメオパシー医学協会 (HMA) 名誉会員】
Hon.Dr.Hom 【ホメオパシー名誉博士 (Pioneer University)】
Ph.D.Hom 【ホメオパシー博士 (International Medical University)】
D.C.Hom 【クリニカルホメオパス】

三十年に及ぶ臨床経験を持ち、難病・医原病に対するホメオパシーの研究と実践に全身全霊を注いでいます。現代に合わせた医原病アプローチの三次元メソッドを作り上げ、さらに、体の基盤となる食生活を正し、心の問題であるインナーチャイルドを癒し、魂を救うために、信仰心を高め、霊性学を取り入れ、「ZENホメオパシー」として確立しました。「ZENホメオパシー」は唯一無二のメソッドとして、世界的な評価を受けており、難治の症例を改善に導いているケースも数多く、非常に治癒率が高いです。数多くの臨床経験と研究、自らの体験を含め、あらゆるエッセンスを盛り込んだ講義、さらにライブでの臨床の講義は生きた学びとしてホメオパシーの知識、技術だけでなく、人として生きることの真髄が学べます。

★由井名誉学長 担当科目

・ホメオパシー原理 (ケース含む) ・ホメオパシー病理 (ケース含む) ・ホメオパシーメソッド (ケース含む) ・ホメオパシー哲学と生き方 (インナーチャイルド含む) ・マテリア・メディカ・自然療法 (薬草ハーブ・自然農法)



マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論） レパトリリー（TBR）



菊田雄介 きくたゆうすけ

RAHフルタイムイブニングコース一期生

JPHMA認定ホメオパスNo.406

日本ホメオパシーセンター東京本部

マテリアメディカ、TBRの使い方、ハーネマンの歴史の授業を担当し、サポートシンクチャー活用術などのセミナー講師としても高い人気を誇る。由井名誉学長の健康相談会のサポートを長年担い、難病治療やインナーチャイルド癒し・靈性向上など、ZENホメオパシーの極意を直接学ぶJPHMA副会長であり、日本ホメオパシーセンター東京本部ホメオパス。

マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）



松尾敬子 まつおけいこ

RAH五期生

JPHMA認定ホメオパスNo.153

日本ホメオパシーセンター埼玉日高

豊富甲状腺、腎臓、肝臓、リウマチ、癌などの慢性病における改善症例を多数持つ。日本ホメオパシーセンター埼玉日高で活躍する現役のママさんホメオパス。歯の問題に関するセミナー講師も務め、創設者である由井名誉学長の後を継ぎ、日本ホメオパシー医学協会（JPHMA）2代目会長を務めた。現JPHMA名誉会長。

マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）



新城英一 しんじょうえいいち

RAH九期生

JPHMA認定ホメオパスNo.452

日本ホメオパシーセンター読谷トリイ

由井名誉学長の元で授業や講演、健康相談会のサポートスタッフを担当した後、地元沖縄に戻り、オンライン相談なども活用しながらお父さんホメオパスとして活躍。また「ホメファーマー」として農業にも挑戦中。ユニークな切り口でわかりやすくレメディーを伝えるマテリアメディカの授業やセミナーが人気。JPHMA理事。

マテリア・メディカ（プーラ、慢性病論）



高宮義和 たかみやよしかず

Chom2期生

JPHMA認定ホメオパスNo.0943

日本ホメオパシーセンター東京本部

癌の宣告を受けて闘病、由井名誉学長のZENホメオパシー・三次元処方で克服した経験を持つ。インナーチャイルドコースや水のレメディーの授業を担当し、講演会の企画も手がけるスタッフとして活躍中。二児の息子の父であり、子育て奮闘中のお父さんホメオパス。初心者向けの出張講演も行っている。東京本部ホメオパス。

フラワーエッセンス



東 昭史 あずまあきひと
CHom Harper Flower Flower
エッセンス講師 エッセンス研究者

フラワーエッセンス研究者。植物療法を学び、エネルギー療法・フラワーエッセンスに出会う。由井名誉学長のもと、日本の植物からフラワーレメディを開発。著書に『ファー・イースト・フラワーエッセンスの魅力』などがあり、繊細で鋭い感性から花のスピリットを読み解く講演が人気。CHom各コースのフラワーエッセンスの授業を担当。ファー・イースト・フラワーエッセンス協会理事長。

薬草学



小谷 宗司 こたにそうじ

薬学と薬草学の講義を担当し、長野県製薬の取締役製造部長や信州大学薬草栽培の特任教授などを歴任。日本伝統漢方の復興に尽力し、全国で薬草栽培の指導を行う。由井名誉学長と共に、日本の植物からのレメディやマザーチンクチャーを開発中。食べられる野草「かてもの」の本も執筆中。また、水のレメディで知られる長野県王滝村の木曾御嶽神社の氏子総代でもある。

解剖・生理・病理



酒向 猛 さこうたけし
医学博士／外科医師

現役の医師。CHomでは現代医学の生理・病理学、千鳥学説、特に専門の癌の病理の講義を担当。セントマーガレット病院・統合医療科部長時代にJPHMAの提携病院(クリニック)として統合医療の一環としてホメオパシーを導入、院内で由井名誉学長、JPHMA認定ホメオパスがホメオパシー健康相談を行う。著書に『癌を克服するために』『隠された造血の秘密』などがある。



増田 敬子 ますだたかこ

RAH 八期生
JPHMA認定ホメオパスNo.357
日本ホメオパシーセンター熱海伊豆山

現代西洋医学の解剖・生理学をホメオパスの視点を含め解説、エネルギー測定器QX-SCIOの実践でもZENホメオパシーの視点を取り入れたわかりやすい講義が人気。専門の運動学から、コアトレーニングや脳トレーニング、免疫力を向上させるボディワークなどの講演やセッションも人気。東京本部を経て現在は熱海で母さんホメオパスとして活躍中。

救急医学



高野 弘之 たかのひろゆき
豊受クリニック 医師

内科医・小児科医。人間が本来持っている自然治癒力を尊重し自然療法を否定せず、患者に寄り添った視点で診療・治療活動を行う。2014年より医療法人豊受会豊受クリニック院長。CHomでは救急救命医学の講義を担当。全国で講演活動を行う他、自らもSNS等で発信中。著書『母子手帳のワナ』知られざる母子保健の真実』など。

ケンティアンから本物のハーネマニアンに戻るために
これまでに招聘した海外講師から



ジョージ・デイミトリアディス

オーストラリアのハーネマン・インスティテュート・シドニーの創立者。ハーネマンが少量の原物質で行った百数十種類のレメディーの実証実験結果のみを忠実にレパートリー(TBR)にまとめたのが愛弟子ボーニングハウゼンであり、このTBRを忠実に再現したハーネマン学研究の第一人者。ChhomではTBRをもとにレメディーの選択を解説。

トレバー・ガン

生化学者・英国ホメオパス。2002年由井名誉学長招聘により『予防接種は果たして有効か』をタイトルにRAH東京校で歴史的講義を行う。その講義録をホメオパシー出版が書籍化、日本での予防接種神話崩壊へ大きな役割を果たす。ホメオパシー医学の視点から描き出した病理学は、生体システム、病気のプロセスについての現代西洋医学の誤った常識を覆し、真の理解を与えてくれる。

ルディー・バースパー

オランダ出身、カナダ在住のホメオパス。ハーネマンの原点に戻り、その医療体系を二十年以上に渡って研究。複雑な慢性のケースに関する豊富な臨床経験から、伝統的なホメオパシー治療に生じていた様々な問題を検証し、体系的でダイナミックな治療法を生み出した。『ダイナミック・レガシー』他、多くの著作がある。

ユブラジ・シャルマ

王立ロンドン・ホメオパシック・ホスピタルでの医師経験あり。現代医学のアロパシー医、鍼灸師、スピリチュアリストでありホメオパスとしても活躍。自らもホメオパシーの学校を主宰。東洋医学・ホメオパシー医学・現代医学・シュタイナー神智学・霊的な病理・生理学を一体とする講義は明瞭で簡潔と定評がある。著書『スピリチュアル・マテリア・メデイカ第1+2巻』



エワルト・ストットラー

オランダのホメオパス。現代を代表するハーネマン研究者の1人として由井名誉学長が発掘し、海外講師として招聘。深い洞察力と体系的なアプローチが特徴。花びらメソッドによるマヤズム理解、介入レメディー、LMポーションなどの解説は、オルガン、慢性病論を理解する上で貴重な学びとなる。

ロジーナ・ゾンネンシュミット

ホメオパシーが国民的療法として親しまれるドイツにZENホメオパシーを紹介。コロナワクチン情報の交流や、発達障害などのサポートを海外で実践。ドイツ国家認定医学治療家ハイルプラクティカーでありプロの治療家へのホメオパシー指導者。ホメオパシー、ユーモア・セラピー、精神修養の専門家であり、ピエロの資格も持つ。著書『ホメオパシー 癌のレパートリー』など。

マリナ・シウマス・リンブ

ルーマニアのジェモセラピー、ホメオパシー団体代表であり、緊急陸軍病院の予防治療部署でホメオパシーを実践する医師。ジェモセラピーと植物セラピー療法も行う。2011年からルーマニアの医師にホメオパシーの講義を提供。ルーマニアの学会に由井名誉学長のZENホメオパシー発表を招聘、自身もJPHMAコングレスで発表している。

プラティップ&プラサンタ・バナジー父子

インドで三世代に渡り何百万ものホメオパシー臨床実験と診療を展開。革新的な「バナジープロトコル」の開発により、多岐にわたる現代病的確なレメディーを迅速に選択可能となった。癌、腎不全、多発性硬化症など様々な慢性疾患、難病の治療で成果を上げ、国際腫瘍学会、JPHMAコングレスで発表。Chhomでは『バナジープロトコル』を翻訳、出版し授業にも取り入れている。

学校案内

CHhom 東京校

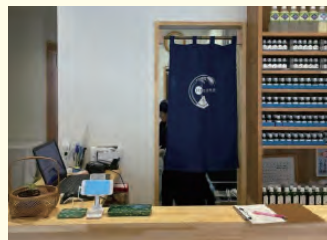


学校、センター、レストラン、ショップ、クリニックが設備された健康複合施設。

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台 2-2-3 矢藤第3ビル
TEL : 03-5797-3250 / FAX : 03-5797-3251
Email : CHhom@homoeopathy.ac

- 東急田園都市線 用賀駅 南口より徒歩 10 分
- 東急バス 渋 12 渋谷駅→二子玉川駅方面瀬田バス停より徒歩 5 分

東京校では、各種ライブ講座を行っています。施設内では、ホメオパシーの健康相談、豊受自然農の各種食品、各種ホメオパシー関連書籍も販売。また、飲食も楽しめるので、一日中、ホメオパシーと自然生活を満喫できる施設となっております。eラーニングの学生の皆さんも授業とはまた別の魅力的なライブ講座へぜひ足をお運びください。そして、充実のホメオパシーライフをお楽しみください。



豊受自然農 健康食生活 京都店

日本豊受自然農の直営のカフェ&ショップ。静岡と北海道の自社農場で自然な種から育てた米や野菜を使用した御膳や、砂糖不使用で自然な甘みのドリンクやデザートを提供します。

京都府京都市左京区下鴨西林町 12番3 TEL 075-741-6761
営業日時：火曜日～土曜日 10:00～18:00 (日月定休)
お食事ご提供時間 店内飲食 11:00～18:00 (ラストオーダー (17:00))
お持帰り 11:00～17:00



豊受オーガニクスシヨップ & レストラン

豊受自然農の「志」

人の体をつくる食は

- 一、安心安全であること
- 一、栄養が豊富なこと
- 一、皆に供給すべきこと

静岡県函南と北海道洞爺で完全無農薬、無化学肥料、種からこだわる自然農野菜を中心に、畑の素材を生かした調味料を使い、「志」と「おもてなし」を大切に食を提供しております。また、シヨップでは、新鮮豊受野菜や、豊受野菜の加工食品、豊受ハーブや野菜から生まれた化粧品、レストラン特製のお弁当も販売しております。



◎豊受オーガニクスレストラン
 昼の部：11時半～15時半（ラストオーダー - 15時）
 夜の部：17時～21時（ラストオーダー - 20時）
 ◎豊受オーガニクスシヨップ：10時～20時
 営業：火～土曜日 / 定休日：日・月曜日
 電話：03-5797-3252

日本ホメオパシーセンター本部

由井寅子日本ホメオパシーセンター総センター長はじめ、RAH（Chomの前身ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー）、Chomの卒業後さまざまなクライアントを治療に導いてきた精鋭ホメオパスによるホメオパシー健康相談会が行われております。ホメオパシーの学業とともに、健康相談会をお受けになり、ご自身やご家族のインナーチャイルドの解放にお役立てください。

※ホメオパシー健康相談会は、一般の方がお受けいただけます。相談料がかかります。



◎日本ホメオパシーセンター東京総本部
 電話：03-5797-3136（完全予約制）
 営業：火～土曜日 受付時間：9時30分～17時
 定休日：日・月曜日

医療法人豊受会

豊受クリニック

体の問題が気になる方はChom 東京校建物に隣接する日本ホメオパシー医学協会の提携クリニックである豊受クリニックで受診することも可能です。ここではChomプロフェッショナルホメオパス養成コースを卒業された自然派医師の高野弘之院長がZENホメオパシーを理解され、現代医療の診療や検査なども行っています。



◎豊受クリニック
 電話：03-5797-2702（完全予約制）
 営業：火～金曜日
 休診日：月・土・日曜日

CHhom学生・卒業生の特典

●豊受モールの会員特典の適用

CHhom4年制の学生は、在学中、豊受オーガニクス ショッピングモール（以下、豊受モール）のプレミアム会員特典が適用されます。豊受化粧品、食品、など商品の購入の際に、ポイントが付与されます。特典の詳細は、豊受モール会員規約をご確認ください。

●講演会料金の割引

CHhom主催の講演会に学生特別価格で参加できます。

●学生向け限定商品の購入

テキスト

ハーネマンのドイツ語の原典から直接日本語に翻訳した「マテリア・メディカ・プーラ」、慢性病のマテリア・メディカ、ホメオパス必携の本格的なボー

ニングハウゼンのレパートリーである「TBR」日本語版、さらにTBRから作成された「TBRマテリア・メディカ」の購入ができます。



TBR PCソフト

TBRレパートリーマシ

ホメオパス必携の本格的なボーニングハウゼンのレパートリーであるTBR日本語版を、パソコンソフトウェアの形で購入することができます。他に、ホメオパス向けの本格的な日本語版ロータス・マテリア・メディカ、日本語版ロータスレパートリーをパソコンソフトウェアの形で、購入することができます。

QX-SCIO
ホメオパシー測定修正機器を特別価格にて購入することができます。

※TBRやQX-SCIO購入の豊受モールポイントは付与されません。

●そのほかの特典

学生になるとJPHMAへの入会資格（専門会員）が得られます。JPHMAに入会すると年一回開催されるプロフェッショナルホメオパス学術大会であるJPHMAコングレスへの特別価格での参加ができ、JPHMAの会報誌・ホメオパシクジャーナルが配布されます。また、JPHMA主催の講演会に会員価格で参加できます。

※CHhomでは、一年次からJPHMA専門会員に加入することを推奨しています。

Q & A

Q・・・日本にはホメオパシーの学校がいくつかありますが、どの学校を選択してもプロのホメオパスになれますか

A・・・海外では正式にホメオパシーの学校を運営するためには日数ならびに時間数が定められています。日本においては、残念ながらパートタイム科で三年間のところ、通信教育が中心で修了できるところ、極端な場合、一年間のコースもあります。セ

入学前の皆様からのご質問にCHhom事務局よりお答えします。

ルフケアならそれでも良いでしょう。しかし、プロフェッショナルホメオパスになるためには、パートタイム科で四年間かけてハーネマンの基礎から実践まで、しっかりと学ぶことが必要です。年数だけではなく、プロになるためには十分な時間数も必要です。CHhomでは、国際標準以上に教える内容、時間を充実させ、真のプロフェッショナルホメオパスを育成しています。

デンタル



血液トリートメント



周波数調整



過去性プログラム



QX-SCIO

Q…ホメオパスの賠償責任保険とはどのようなものですか

A…ホメオパスがその国で職業として確立しているかどうかの判断基準は、ホメオパスの職業保険が成立しているかどうかにあります。もちろん、ホメオパス認定試験が国家試験となり、ホメオパスという職業が国家資格となつて完成するのですが、そのためには、その下地がなければなりません。それがホメオパスの職業保険です。この職業保険は、一定の実力を持つているホメオパスに与えられるべきものです。国家資格をとらなければ職業として確立しないかというところということではありません。国家資格となる前に、まずその国において職業認定機関（職業団体）が確立し、やがて職業として確立するのが通常です。職業として確立したかどうかは、職業団体において職業保険が成立しているかどうかで判断することができるといふことです。そもそも、職業として確立するためには何かを考慮してみましよう。まず第一にその仕事に専門性がなければなりません。

ん。これは同時に然るべき専門

教育を行う教育機関が必要であることを意味します。第二にその仕事が国民の利益に供するものでなくてはなりません。療法関係であれば、国民の健康と福祉を増大させるものでなければなりません。第三にその専門性に関して第三機関がその知識と技能が客観的に試験されるシステムがなければなりません。すなわち、プロフェッショナルかどうかを試験し認定する信頼できる第三機関と、試験に合格した者だけがプロフェッショナルとしてその業を用いて職業とすることのできる制度が必要なのです。以上は、職業として確立するための全世界共通の職業理念です。

ホメオパスの職業保険は二〇〇五年十月に成立しました。八年間に及ぶ継続的なJPHMAの活動実績がやっとな認められたのです。海外では職業保険が確立しているかどうかでその職業をやっているかどうかを判断します。約十年の歳月をかけてやっとヨーロッパのホメオパシー先進国に肩を並べることができました。

ホメオパスは、プロフェッ

ショナルホメオパスを認定する職業団体（プロ認定機関）に認定されることで、はじめてプロとしての活動ができます。ただし、この職業団体は職業保険をもつていなければなりません。なぜなら、職業保険をもつということは、その職業団体が社会的にも能力的にも認められていることを意味すると同時に、万一、その職業を行うなかで問題が生じてしまった場合でも、責任をもつて対応する体制が整っているということの意味するからです。

現に、ICHH（ホメオパシー国際評議会）においても「ホメオパシーを職業として行う者は、ホメオパスの職業保険のある協会（ホメオパス職業団体）の認定を受け属するべきである。それが、プロフェッショナルホメオパスの定義であり義務である」としています。

Q…CHhomのカリキュラムでは解剖・生理・病理については、どのように組まれているのでしょうか

A…現代医学の基礎を身につけることは、とても大切なことであると考えています。入学前に学ばれている方もいますし、全く学んでこなかった方もいます

のでCHhomでは、現代医学の解剖生理、臨床病理、救急医学をしっかり教えます。解剖・生理・病理については、酒向医学博士、増田講師が、救急医学については高野医師が担当します。現代医学の解剖生理を理解することは、国の枠組みの中で責任を持った行動をとるためには必要不可欠となりますので、必須授業としています。

また、現代医学の解剖生理だけでなく、ホメオパシー的観点から見た解剖生理を増田講師が教え、ホメオパシー的な病理生理は由井先生が教えます。

ホメオパシー統合医療のカリキュラムは、CHhomでしか学ぶことができない授業です。それは、海外の学校でも行われていないCHhomオリジナルともいえます。ホメオパシー療法を行っていく上で、本当に生きた解剖・生理・病理の基礎を理解するために、画期的なカリキュラムと言えます。

Q…「ホメオパシー療法は、現代医学を否定し、患者を病院から遠ざける」と言われていますが

A…このような指摘は一連の新聞報道によるもので、正確な情報が伝えられずに多くの人々に誤解を与えています。事実はJPHMAでは現代医療を否定しておらず、現代医療と協力してやっていくという立場をとっており、協会会員に周知徹底しています。現に、JPHMA認定（プロフェッショナル）ホメオパス倫理規程で下記のように定めています。

プロフェッショナルホメオパス倫理規程第三条三項より「本協会認定ホメオパスは、クライアントが病院での検査、診察等（以下、検診という）を受けることに否定的であってはならない。病院での検診が必要と判断される場合は、速やかにその旨をクライアントに伝えなければならない。なお、検診を受けるか否かの最終判断は、あくまでもクライアントが行うものであり、

本協会認定ホメオパスが強制することはあつてはならない。ただし、慢性疾患のクライアントに対しては、病院での定期的な検診をお勧めしております。

Q・ホメオパシーと薬事法との関係を教えてください

A・薬事法は薬局や医療品、医療用具等の基準・検定・取り扱いについての決まりごとです。ホメオパシー療法において用いられるレメディーは砂糖玉やお酒（スピリッツ）であり、薬ではありませんから基本的に薬事法の適用外となります。これは、成分を調べても原物質が検出されないことから明白です。また、商品と関係しない形で、すなわち純粋な学問としてのホメオパシー療法やレメディーの効果効能を伝えることも問題ありません。

しかし、薬事法広告規制の關係で、薬ではない商品（販売用あるいは贈呈用）としてのレメディーの効果効能をうたつたり暗示することはできません。このため相談会で選択したレメディーをホメオパスはクライアントに直接お渡ししていません。レメディー適用書をクライアントにお渡しして、その後はクライアントが自ら選択したレメディー販売店から直接レメディーを購入していただく形になります。

Q・ホメオパシー療法は医師しかできないと聞きましたが本当ですか

A・いいえ、違います。医師法により、ホメオパシー療法は医師しかできないと言っている人がいますが、それは正しくありません。医師法とは現代医学による医療を行うことができるのは医師だけであるという法律です。現代医療という学問を専門に学びその知識と技能を身につけた医師だけがそれを生業とすることができるのは当たり前です。そして現代医療が国家資格である以上、資格を持たない者がこれを生業とすることができないのは法律的に当たり前なのです（国が医師という職業を保証している以上当たり前なのです）。

しかし現代医療は数ある療法の中の一つに過ぎません。そし

てたくさんある療法はそれぞれ専門家が行うべきなのです。現代医療は大切な療法であり、なくてはならないものです。そしてその業を修めた医師ももちろん必要であり、なくてはならない職業です。しかし、現代医療以外の療法も医師が行わなければならぬというのは、正しくありません。医師法にはそのようなことは書かれていませんし、倫理的にも受け入れがたい考えです。確かに医師法の中には、医師は鍼灸治療を行うことができる」と書かれています。しかし本来鍼灸治療は鍼灸の学問を修め、その知識と技能が試験され合格した者だけに鍼灸治療を行う資格が与えられるべきであり、医師というだけで、鍼灸治療を行う資格があるという考えは憲法上問題があり、違憲の法律である可能性があります。漢方も同様のことが言えるでしょう。

ホメオパシーと現代医学とは根底となる原理が全く異なる医学です。そのため、ホメオパシーを専門的に学んだ者（専門家）が、ホメオパシー療法を行うことが必要条件だと考えて

います。逆に、現代医学の医師だからといって、ホメオパシーを十分に学ばずに、ホメオパシー療法を安易に行えるわけではありません。JPHMAでは、ホメオパシーに関しては、現代医学とは別のホメオパシー領域の専門家が必要と考えています。そして、ホメオパシーの専門知識、経験、技術が一定レベルに達した者に対して、専門資格を与えることが必要と考えています。現在、JPHMAでは、欧米の基準をふまえ、水準以上の認定レベルに達した者に対して、プロフェッショナルホメオパスの認定資格を与え、ホメオパシー職業保険を適用しています。

Q・ホメオパスとしてホメオパシー療法を行うことは、医師法に抵触するのではないかと懸念する人もいるかと思いますが

A・
①ホメオパシーは医療である
②医療は医師が行うものである
③それゆえホメオパシーは医師しか行ってはいけない
という一見したところ矛盾のな

い三段論法を用いて、医師だけがホメオパシーを行ってほならないという結論を導き、あたかも日本において、医師法という法律に対して、不法行為がなされているかのような印象がもたれていますが、これは正しくありません。ホメオパシーは「医療行為」ではありません。医療行為とは、聴診器をあてる、薬を処方する、病名を診断するなど、現代医学に基づく治療行為をすることです。そして、その医療行為に関しては、「医師法」で定められる医師という職業に就く者だけが行うことができるということなのです。すなわち医師とは、現代医学という学問を修得した現代医療のプロフェッショナルです。

また、人々の健康と福祉に寄与するがぎり、「現代医療」という治療法以外の療法を、そのプロフェッショナルと認められる者が行うことは、日本国憲法の「職業選択の自由」において保証されており、事実、社会的に認められています。このことは、もし医師法という医療があるらゆる治療法を指すとなれば憲法に抵触する無効な法律となり

矛盾することからも明白です。

ホメオパシーは医学ですが、これは「ホメオパシー医学」であり、「アロパシー医学（現代医学）」とは異なる学問体系です。ホメオパシー療法を職業とすることができる者は、ホメオパシー医学を修得した者で、すなわちプロフェッショナルホメオパスであり、医師ではありません。

プロフェッショナルホメオパスは、JPHMAの倫理規程に基づき、バイタルフォースの滞りに対してホメオパシー療法を行っています。クライアントから病院での検査・治療の必要性を確認されたとき、それ以前に検査の必要を感じたときは、まず検査をするよう指示します。また、これは医師の仕事であるから病院に行くようクライアントに伝えます。もちろん、検査は医師の仕事だからです。現代医学は、現代医学のプロフェッショナルである医師が行うように、現代医学以外の療法はもちろんそれぞれの療法の専門家（プロフェッショナル）が行うべきと考えます。

CHhom
公式サイト



関連リンク



CHhom
SNS公式アカウント



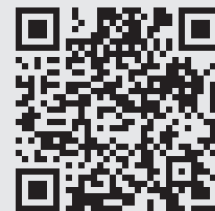
instagram



facebook



youtube



x



line



CHhomプロフェSSIONALコース4年間カリキュラム

スケジュール、講義科目・回数・時間等は現在の予定であり、変更になることがあります。

内容	必修科目	講師(敬称略)	講義 日数
ホメオパシー基本理論の理解			
基礎知識	ホメオパシー基礎	由井名誉学長、澤元先生、JPHMA認定ホメオパス	5
哲学・思想	ホメオパシー哲学	由井名誉学長、JPHMA認定ホメオパス	2
ホメオパシー原理	『オルガノン』講読	由井名誉学長、JPHMA認定ホメオパス	13
	マヤズム論(マヤズムまとめ)	由井名誉学長、JPHMA認定ホメオパス	1
マテリアメディカ	マテリアメディカ	JPHMA認定ホメオパス	24
メソッド	ホメオパシー方法論	由井名誉学長、JPHMA認定ホメオパス	5
現代医学・ホメオパシー病理学の理解			
解剖・生理	現代解剖生理	増田先生	10
病理・臨床	臨床病理学	酒向先生	8
救急	現代救急医学	高野先生	3
ホメオパシー病理	ホメオパシー病理学	由井名誉学長	12
ホリスティック病理	ホリスティック病理	トレバーガン	4
ホメオパシーの実践および統合医療を学ぶ			
ケーステーク	ケーステーク分析授業(1日4ケース相当) ケース実習AMケーステーク PMケース解説 *10日間で40ケース相当	由井名誉学長	10
緊急時の対処	緊急時の対処とホメオパシー	増田先生	1
薬理学	現代薬理学	山内先生、高野先生	3
助産学	ホメオパシー助産学	由井名誉学長、JPHMA認定ホメオパス	3
インナーチャイルド	インナーチャイルド癒し演習①②	由井名誉学長	2
カウンセリング	心理学	由井名誉学長	1
法規	関連法規	秋山先生	1
その他			
進級試験			2
ケーススタディ *2年間でケーステークと合 わせて100ケース以上見学	健康相談会ケース視聴 *10日間で6ケース相当	由井名誉学長、菊田先生	10
4年間必修講義日数計			120

※上記表の項目ケーステーク、ケーススタディあわせて、3、4年次 2年間で 100ケース以上の視聴が必要

2024.8.6 現在

Zoom 交流会を3ヶ月毎に開催しています。日頃eラーニングで学んでいて、ホメオパシーに関して聞きたいと思っていることや学び方のポイントなど、講師や他の学生との情報共有を図る機会を設けています。

日程	受験場所	内容
翌年5月	自宅Web受験、又は東京校	進級試験

CHhom プロフェッショナルホメオパスコース ご入学までの流れ

【入学書類のご提出】

- ・同封の下記4種類をご提出下さい。
- ①入学願書（カラー写真 入学願書貼付1枚）
- ②「ホメオパシーを学ぶ人の心構え」への同意書
- ③「eラーニングコース受講誓約書」
- ④入学試験申込書

【入学試験日の決定】

- ・ご提出頂いた書類を確認後、事務局より受験日のご連絡を致します。
受験日決定後、受験票を郵送または、E-mailでご連絡を致します。
- ・入学試験には5,000円の受験料がかかりますので、予めご用意のほどお願い致します。

【入学試験内容】

- ・入学試験（所要時間2時間）。筆記90分（一般教養＋論文）＋面談30分。
最寄りのCHhom 東京校もしくはスカイプ、Zoomにて受験して頂きます。
（京都市内の拠点でも受験は可能です。）

【合否連絡】

- ・受験後1週間後迄に入学試験合否のご連絡を致します。
合格の場合は【授業料請求書】・【概要書面】をお送り致しますので、本書面の内容をご確認のうえ、期日までにご入金をお願い致します。

【入学に関する書類の送付】

- ・入学金、授業料のご入金が確認できましたら、【契約書面】【ご入学手続き完了のお知らせ】をお送りいたします。
※以降は豊受モールのプレミアム会員となり、購入額に応じてポイントが付与されます。
また、講演会・セミナー、書籍購入が学生割引料金となります。
※初回スクーリング2週間程前に【初回スクーリング案内】を郵送、もしくはメール送付致します。

eラーニングコース 授業スタート

プロフェッショナルホメオパスへの道が始まります！

CHhom 一年次のイベント

CHhomでは、一年を通じて
さまざまなイベントが行われます。
イベントの一部をご紹介します。

春

JPHMA世界ホメオパシー認識週間 日本イベント

6月、CHhom開講。記念すべき四年間の
ホメオパシーの学びが始まります。

GW特別イベント

心DAY・ホメオパシーDAY・豊受DAY

静岡県函南・豊受自然農場にて

春の花摘みツアー

農業シンポジウム

納涼講演

※スケジュールは変更となる場合があります。
あります。また、授業は選択制
(オプション)のものもあります。

静岡県函南自然農場 春の花摘みツアー



冬 秋

JPHMA コングレス開催

日本ホメオパシー財団、日本ホメオ
パシー医学協会（JPHMA）主催

秋のお彼岸 特別講演

静岡県函南・豊受自然農園にて

秋の収穫祭

豊受新嘗祭 特別講演

年末講演

新春豊受トーク

Chom 進級試験

進級試験ではレベルに達しない
方は再試験を行い、個々の学生
が一定以上のレベルで進級する
ようにしていきます。

2019年12月 20日・21日 開催
日本ホメオパシー医学協会主催
第20回 JPHMA コングレス
ホメオパシー学術大会
※写真は、第19回大会の様子



CHhom・由井寅子名誉学長は 世界のホメオパシー界から学会に招聘される トップクラスの療法家

由井名誉学長は、日本のホメオパシーの土台を築き上げたのみならず、ホメオパシー療法に、インナーチャイルド癒し、霊性、信仰心、食養生を含め、ホリスティック（統合的）に人を含め、魂・心・体を三位一体で癒す事を可能にするZENホメオパシーを確立し、まさにホメオパシーの祖ハーネマンが提唱するハイルクンストを実践し、多くの難病を治癒に導いています。その実績は、世界中のホメオパス達に高く評価されており、由井先生は、日本代表として、多くの国際的なホメオパシー学術大会や重要なイベントに招聘され、発表しています。

近年の由井名誉学長の国際的活動及び

CHhom 海外スクーリング

【英国】
ロンドンで開催された二名のノーベル賞受賞科学者はじめ世界のホメオ



パシー研究者が一堂に会した国際セミナー「New Horizons in Water - Evidence for Homeopathy?」（水科学の新しい展望・ホメオパシーの証拠?）」日本代表VIPとして参加。（二〇一八年七月）

【イタリア】

ローマで開催された第8回伝統医学と鍼灸の国際カンファレンスにて基調講演（二〇一八年七月）

【ドイツ】
SPIRIT NATURE HEALING（靈魂、自然、癒し）シンポジウム（Verein für medialität und heilkunst 主催）にて、メインスピーカーとして発表。（二〇一七年十月）



【ルーマニア】

The Romanian Association of Gemmotherapy and Homeopathy (ARGH:ルーマニア・ジェモセラピーとホメオパシー協会) 主催のカンファレンスにて、メインスピーカーとして発表。（二〇一七年十月）

【オランダ】
Homeoprophylaxis: A Worldwide Choice for Disease Prevention (HPWWC:ホメオパシー的予防・疾患予防への世界の選択) 主催、初のヨーロッパカンファレンスで発表。（二〇一七年十月）



【英国】

The Homeopathic Medical Association Annual Congress（英国ホメオパシー医学協会年次カンファレンス）メインスピーカーとして発表。（二〇一七年十月）

【インド】
World Integrated Medicine Forum on Regulation of Homeopathic Medicine (ホメオパシー医学・医薬の標準化規制における世界統合医学フォーラム) に日本を代表して参加。(二〇一七年二月)

【インド】
コッタヤム国立ホメオパシー中央研究所にて行われたインド政府 AYUSH 省文献『ホメオパシー科学・穏やかな治療法』(ホメオパシーリサーチエビデンス集) 日本語版出版記念式典参列。(二〇一六年十二月)

【インド】
インド政府 AYUSH 省 Central Council for Research in Homoeopathy (CCRH: ホメオパシーリサーチ中央評議会) と JPHMA のジョイントイベント「Seminar on Mental Health (心の健康セミナー)」にて発表。(二〇一六年十二月)

インド最大のホメオパス団体インドホメオパシー医学協会 (HMAD) の第二十回記念の年次学術大会に招聘され「ZEN ホメオパシー」の発表を行う。(二〇一六年十二月)



【英国】
ロンドン大学、スクール・オブ・ファーマシーにて「ZEN ホメオパシー」の最新情報の講演。参加者はイギリス人や日本人に留まらず、ルーマニア、スイス、デンマーク、ドイツ、ナイジェリア、アメリカなど各国の方々が集まる。(二〇一六年七月)

【インド】
日印ワールド・ホメオパシー・カンファレンスをニューデリーにて二日間開催。インド政府 AYUSH 省ジョイント長官、ジテンドラ・シャルマ氏が開幕式に駆けつけ、インド政府官僚の皆様にもご参列頂き、盛大な開幕式でスタート。WHO 東南アジア技官、伝統医学の Dr. キム・サン・チョルも特別ゲストとして参加。(二〇一五年二月、三月)

【ブータン】
ブータン王国第五代ワンチュク国王と一時間四十分にもわたる謁見を賜る。タシチョ・ゾンにて国王と直接お会いする機会を賜り、ホメオパシーや自然農をはじめ、ブータンと日本の文化や国民性など、幅広い分野に渡るトピックに対し、国王よりお言葉をいただくことができました。「私はホメオパシーをサポートします」というお言葉もいただき。さらに、日本からの参加者全員の前姿を現わして、記念写真もご提供いただいた。
太皇太后 (第五代ワンチュク国王の祖母) との拝謁を賜る。ここでも、ホメオパシーははじめブータンで保護されている自然についてのお話など様々な



分野でのお言葉を頂いた。日本からの参加者全員が宮殿に招かれ、一人ずつ、直接ご挨拶させて頂く光栄を賜る。(二〇一五年三月)

Chhom 在校生・卒業生は、由井名誉学長が招聘され、学術発表を行う国際的なカンファレンスに参加する機会に恵まれており、世界各国のホメオパスや代替医療の療法家達の活動や症例を直に学ぶ事ができます!

卒業後の進路・就職状況

2021年4月末現在、CHhomの前身であるRAHと、CHhomを卒業した約600名のホメオパスたちが、日本各地で活動しています。

卒業生の方の多くが、ご自身でセンター（日本ホメオパシーセンター）は、全国で約三百カ所）を開き、ホメオパスとして、ホメオパシー健康相談やホメオパシーセミナーを開催しています。個人センターの他に、

日本各地のホメオパシーセンター本部でホメオパスとして活躍している方もいます。現在、東京用賀のセンターには十名のホメオパスがおります。日本でも、既に累計二百万人の方がホメオパシーを使用しています。また、ホメオパシー商品の販売店や取扱所

をしている方、CHhomやRAHの講師として活躍している方など、ご自身のライフスタイルに合わせて、RAHやCHhomで学んだことを活かしています。また、CHhomでは自然療法を実践するCHhom卒業生の高野医師による豊受クリニックが隣接し、現代医学とホメオパシー統合医療の協体制ができています。

JPHMA 認定後の卒業生の進路状況

卒業後、九〇%の方が何らかの形でホメオパシーを活かされ、実践されています。卒業後にCHhomでの教育を活かして活躍されている方が多いのが本校の特徴です。



CHhom卒業式より

JPHMA 認定後の活躍する卒業生



松尾敬子 JPHMA 認定ホメオパス
自宅でセンター開業
行列ができるホメオパス



井手 麻子 JPHMA 認定ホメオパス
ファーマーホメオパス
ファミリーホメオパス講師



寺澤カンナ JPHMA 認定ホメオパス
地域を変える活動
石垣島と沖縄本島で活動



橘央子 JPHMA 認定ホメオパス
ファミリーホメオパス講師
豊受商品取扱所でも活躍



西田つや子 JPHMA 認定ホメオパス
助産師としても活躍
妊産婦の食事指導



在校生・卒業生の声

入学のきっかけは人それぞれ、でも、目指すのはプロフェッショナルホメオパス！
在校生も卒業生もみんながんばっています。
そんな先輩たちの声をお聞きください。

ZENホメオパシー は実力のある本物の 医学

Chom5期M・Fさん

当時の私は、産後うまくいかなかった育児に深刻に悩んでいました。夫は状況を理解しようと思わず、むしろ、手が回らない家事に対し「なぜ家が汚いんだ」などと家事のダメ出しの連続で、ふらふらになりながら一人頑張りましたが結果うまくいかず、育児ノイローゼを通り越し、慢性疲労症候群になり、深い鬱状態に陥って

いました。その時の私は、誰にも分かってもらえない悲しみとひとりただ泣く事しか出来ませんでした。

私の産後うつに対して、どうして良いのかわからず、もがきましたがうまくいかず気力も出ず恐怖と絶望のどん底にいたのです。そんな時、運命の導きで一冊の本「ホメオパシー in Japan」と出会いました。本を一通り読み、著者紹介の中の由井先生を見たとき「子供を救っていただけける方はこの先生しかいない。自分の病気を治せるのも」そう直感しました。長

く悩んだ後、思い切った相談会に希望しました。ここからは、様々な出来事が起こりました。どんどん由井先生が著書で何度も言われるところの「自分の鏡」が目の前に登場しました。学生生活になった私には学費が必要だったので仕事を始める事になりましたが、そこでの人間関係はことごとく上手くいかずに苦しみ、感情が荒れ始めました。由井先生は2つの課題を下されました。一つ目はインチャ癒しのイメージの中で、私を殴る父親を止め、謝らせる事。もう一つは祝詞心経をする事でした。私にはインチャなどないと思われていたので、どちらも始めは上手く行きま



せんでしたし、今の症状と、インチャ癒しと祝詞心経がなぜ繋がるのかが分からなかったのです。でもそれしか道はないという状況でしたので、由井先生の「感情日記」を書きながら不器用ながらも真剣に向き合ううちに、何かが少しずつ変わってきました。少し良い方に変わってきたのは、まずは子供でした。学校での人間関係が少しずつ良くなって行ったのです。しかし、私のインチャはとても深かったのですが、簡単には行きませんでした。

私は仕事を、もっと給料の高い、やりがいのありそうな職場に変える事にしましたが、早朝から夜中まで張り詰めた緊張の続く毎日に、次第に息切れと疑問を感じてくるようになったのです。これが自分のやりた事なのか？自問自答を繰り返しました。職場で評価を得る為に、フルタイムの仕事に就き、家事育児をお

ろそかにし、自分の心を見る暇を与えず、自分の気持ちの後回しにして仕事に没頭するという行動と心理状態と、そこに集う人間関係こそが、自分が長い間、最も深いところに落とし込んでいたインチャを浮上させるきっかけとなったのです。小さな私は、力もなくて、あがきました。しかし、この絶望を味わう間もインチャを見つめ続ける事と、祝詞心経は諦めませんでした。やはりそれしか進む道はないと魂レベルで知っていたからです。途中Chom3年生で「インチャコース」に入學しました。自身の経験上、もは

や、インチャ癒しは、お手軽なヒーリングとかいう癒しのレベルではなく一つの学問であると悟ったからです。ある日、インチャの自分が求めていた本当の願いに出会える瞬間が訪れました。それは劇的な気付きの瞬間でした。ただただ、愛して欲しかった。何もできない、ありのままの私を認めて欲しかった。それだけだったのです！たったそれだけが小さな自分の願いだっただと分かったのです。この世の中で愛されるため必要とされる人間になる為に頑張ろうとする気持ちこそが、本当のありのままの自分から逸脱する原因であり、それが形となって、病気として現れたという事が目に見えて分かったのです。光が私の身体から、心そして魂までスーッと優しく貫くような、素晴らしく美しく感謝の念で満たされる瞬間でした。魂の病気であった私を治して下さった

由井先生は、まさに魂のホメオパスであり、由井先生の創設されたCHhomは、魂のホメオパスの育成を実践している、地球上で唯一のホメオパシー学校と実感しています。また、私が、由井先生のレメディだけに頼るのではなく、もがきながら泣きながらも、這いつくばるようにして自分で進むのだと決めて、苦しみに向かい合って進んで来られたのも、CHhomでの学びがあったればこそのように思います。

全てを乗り越えた、今、私は中学生の子供を持つ、ただの主婦に戻りました。CHhomに入学する4年前も、ただの主婦でしたが、しかし今とは全くの別人のような気持ちがあります。それは、学生生活の学びの中で、ホメオパシー医療をはじめ多くの真理を学ぶことが生きる力になっている事と、由井先生からの相談会を通して頂いた、厳し

くも温かなお導きによって、たくさんに分裂していたものが一つになって、ありのままの素の自分に戻れた喜びと、信仰心を通して大いなる存在を思い出し再び繋がれた喜びが、心を温かく優しく鎮めさせ、人生を信頼と愛の輝きでいっぱいにしてくれるからです。また、ZENホメオパシーは、実力のある本物の医学です。何故ならば、私のように心や魂が病んで、心に深く落とししてしまったインナーチャイルドの癒しや、日本古来からの信仰心という目に見えない部分からのアプローチが有効であることは、疑いのない事実だからです。そして、是非、インチャ癒しをして、暗いトンネルの向こうで「自分」からの救いを待っている、小さな「自分」を救いに行きましょう。まずは、自分を救って行きましょう。ZENホメオパシーと私達にはそれができます。必ずきつと。

.....
大いなるものに委ねる、すべては繋がっているという感覚

CHhom 3期Y・Aさん

私がホメオパシーに出会ったきっかけは「うつと不眠」でした。精神科の薬を飲んでいた私に、叔母が「ホメオパシー療法」を勧めてくれました。最初はクライアントとして半信半疑でホメオパスの相談会を受けましたが、ホメオパシーによって体も心も魂も助けてもらったので、この素晴らしくて不思議なホメオパシーをもっと知りたいと思うて入学に至



りました。

振り返ると、以前の私は自己否定と罪悪感がすごく強かったです。悲しみと絶望に覆われていました。自分を大切にすること、心が大切にするこや、心と体が繋がっていることが分かります。自分の体を信頼する感覚、魂と繋がっていることの大切さ、大いなるものにゆだねる感覚、すべては繋がっているという感覚も分かってきました。生きるのが楽になりました。今では、うつという病気をもらったことも、苦しかった出来事も必然だったと感じ、すべてに感謝しています。

私の周りでは、夫、母、義母、愛犬、愛犬の訓練士さん、友人がホメオパシーを使うようになりました。レメディーを使うことにより、心身のバランスを取り戻す様子に感激しています。学ぶにつれて、ホメオ

パシーの奥深さを感じています。フラワーエッセンスも大好きになりました。

学校はとつても楽しくて、楽しい楽しいと過ごしているうちに本当にあつた。由井先生は講義の度に、その時々のあるままの姿で惜しみなく教えてくださいます。中継のモニターを通してあふれる愛が伝わってきました。笑い話があり、時には涙し、生身の姿で教えてくださる由井先生が大好きです。他にも素敵な先生方と友達に出会いました。私はホメオパシーを知りたくて入学しましたが、今では、ホメオパスになってホメオパシーを必要としている人に届けたい！と強く思っています。

この学校案内をご覧の皆さん。ホメオパシーに出会えてよかったですね。もし、学びたいという気持ちが少しでもありましたら、ご自身の気持ちに正直に従って

学校に飛び込んでみる事をお勧めします。それぞれの命を、ますますイキイキと生きられますことを願っています。」

他にはない特別な 学生生活

Chhom9期K・Sさん

私がChhomに入ってきたきっかけは、まずはインナーチャイルドコースに一年間通い、その間での自分の変化がものすごくあったのが一番です。インチャコース最後の方には四年生コースに行くというのはいちじやないかというぐらい意思が固

まってきました。

Chhomの学生生活は幸せです。一緒に入った同級生たちの個性が強いのと、なんか不思議な一体感があつて、何か不思議な繋がりをを感じる仲間に、四年間一緒にホメオパシーを学ぶことができることは幸せだなと思つています。高校とか、今まで育ってきた環境を考えても何かこういう人間的な繋がりを感ずるといふことがなかったの、この学校は特別だと本当に思っています。

人生って一度しかなくて、こういう時代で生きていくと自分は何をするべきなのか、自分のしたいことがよく分からない。分かっている人の方が少ないのではないのでしょうか。私も子どもを産んでずっとモヤモヤしていて、生きてはいるけど、これからどうしたらいいのだろうと思いつながら生きていました。多分そういう人って多いんじゃない

かと思うのです。やっぱりホメオパシーをやってみたという思いにサードアイも開いていて、自分にきちんとしていかせてもらえているチャンスの時だと思つたので、そういう言葉に逆らわずに受け入れてやってみるのもすごくいいのかなと思つきました。

私は本当に由井先生に出会えてよかったと思つています。壮絶な人生の中に、すごく人間味溢れるところがあつたりと、自分も重なる部分があり、先生が壮絶な人生でもこうやって生きてこられたと、自分の人生をさらけ出して人を助けてくれる人ってなかなかいないと思つています。みんなのお母さんみたいですよ。素晴らしい人だなんて本当に純粋に思つています。私もそういう人になれたらいいなと思つて今、生きています。

分りあえる 仲間とともに学ぶ

Chhom10期N・Iさん

ファミリーホメオパスコース（以降 ファミホメ）で、一年間学びすごく楽しくて、いざプロフェッショナルコースに入りたいなと思つていました。

ファミホメで疑問に思つていたことが四年制に入つてみて、「あつ、こういうことだったんだ」というのがすごく分かり、楽しく勉強できています。

Chhomは、まず同期の学生の方が同じ志を持っていて、話が分かり合えて、気持ちが通じ合えます



し、ホメオパシーをされる方っていろいろ辛い事とかあったと思うので、そういう点でなんとなく分かり合えるというのが、他の学校と大きく違う点かなと思います。そして、由井先生を始め、講師の方がすごく熱心で、ご自身の全てをかけて教えてくださり、今まで習った学校とは全然違うと感じます。

由井先生の授業は聞いていただけで、なぜか知らないけれど涙が出てきて、先生に別に私の人生を話したことはないのですけれど、本当に全てお見通しという感じで、日本国民の母というかお母さんという存在感の方だなと思っていて、由井先生が先にホメオパシーに出会ってくださって、それを私たちに教えてくださって、先生が生きている時代に自分が生まれることができて良かったなど、感謝

ですし、本当にイギリスからホメオパシーを持ってきてくださった由井先生に感謝以外の表現のしようがないという感じですよ。

CHhomは日本のホメオパシーの総本山

CHhom 11期 M・Aさん

学校生活はとても楽しいです。いろいろな要素が授業の中に詰っていて、人間の体のことであったり、病理のことであったり、鉱物とか植物とかいろんな原料を使ってレメディーは作られていますので、植物の知識であるとか、鉱物の知識であるとか、すごく興味深く、教わっていて楽しい感覚です。それとやっぱり普通の学校と違っていろいろな経験をされた方がたくさん来ていらっしやるので、た



だ高校を出て、大学を出てとかいう若い方が学校に行く感覚と違う、社会に出て、いろいろな経験を積んだり、お子さんを出産されたり、子育てを終えられたりした方が来ているので、人生の経験値の多い方がたくさんいらっしやる。それと同じ志を持って学びを深めていくという強い意志、気高い志を持った方がたくさん集まっているところなので、そういう意味で一緒にいて心地よい刺激を与えていただけるところだと思えます。

由井先生自身がとても過酷な人生を送られてきた方ですので、やっぱりその中でなんとかしたいという気持ちとかこの人をどうにかしてあげたいという他者に對して共感を持たれたりとかそういう方だと思うのです。本当に先生ご自身の体験を踏まえて大変な思いはなさったと思うのですけれど、イギリスでこういったメソッドを学ばれて、それを日本に持ち帰ってくださったというのが私はすごいことだと思っています。正直、このホメオパシーを学ぶにあたって、いろいろインターネットとかでも検索しました。学校もたくさんありますし、一年間で費用も抑えられてホメオパスという呼称を与えられるという学校もあったのですが、やっぱりホメオパシーを日本に持ってきて、学校を作って、ここまで広めたのは、由井先生のグループじゃないですか。ある意味四年間長いし、費用も掛かるしと思ったのですが日本のホメオパシーの総本山はここだという最終的な決め手はそこです。

やっぱり由井先生の元で学びたいという気持ちと、先生の考え方に私の気持ちがあ致して、私自身の方向性が間違っていないという風に感じています。由井先生がいるところでホメオパシーを学んで、実際にお会い出来たらなと思って入学して、実際にお会いしたら普通な感じで気さくな感じ、すごい方なんだと聞いていたら普通にいらっしやるので、またそれが奇妙な感覚ながらも感動だったりしております。由井先生に本当に今私がこういう状態で楽しく学びをさせてもらっていることにとってもありがたいと思っています。

CHhom その他のコース案内

●プロフェッショナルホメオパスコース (4年制、最短2年で終了も可能)

ホメオパシーを本格的に学び、日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA) 認定ホメオパス合格を目指すコースです。プロフェッショナルホメオパスコースは、プロフェッショナルホメオパスとして活動するために必要なホメオパシーの知識・技能および現代医学の基礎知識を学べる講座です。ホメオパシーに特化した授業を専門的に学べます。また、ハーブ療法、フラワーエッセンスなどのホメオパシー統合医療の科目はオプション(有料)で学ぶこともできます。

●ファミリーホメオパスコース (1年制)

家族や親しい友人が明るく人生を生きられるように日々起こる急性の症状や心のショックに対して、ホームキットを的確に使いこなしていくホメオパシーの家庭専門家(ファミリーホメオパス)のコースです。コースを修了後、一般財団法人 日本ホメオパシー財団により認定される「ファミリーホメオパス」の受験資格が取得できます。

●インナーチャイルドセラピストコース (1年制)

インナーチャイルドセラピストは、日常起こるさまざまな心の問題に対して相談を受け、インナーチャイルド癒しのアドバイスやホメオパシーのレメディーやフラワーエッセンス等のアドバイスをを行い、一般の方々の精神的な健康をサポートしていくセラピストのことをいいます。インナーチャイルドの意味と癒しの技術を学び、レメディーとフラワーエッセンスを活用し、人生を楽に生きるためのコースです。コースを修了後、一般財団法人 日本ホメオパシー財団により認定される「インナーチャイルドセラピスト」の受験資格が取得できます。

●アニマル・ホメオパスコース (1年制)

獣医学の知識のない学生でも無理なく学ぶことができるよう、解剖・生理・病理の時間を十分にとっています。授業では現役のアニマルホメオパスでもある講師陣より、数多くの動物のケースを学ぶことができます。

※プロフェッショナルコースに入学後、2年次より受講可能です。

※修了試験に合格することで、日本ホメオパシー財団 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA) 認定アニマルホメオパスの資格認定を取得できます。

由井名誉学長 CHhom 特別講座『新 霊性オルガノン』コースのご案内

由井名誉学長特別講義『オルガノン』講読全6回コースは、ハーネマンのオルガノンを踏まえた実践経験を重ねられた由井名誉学長ならではの内容となっており、貴重な機会です。

ホメオパシーを学び、実践する者にとって、ハーネマンのホメオパシーの哲学、原理、方法論を理解することは、基本であり、とても大切なことです。由井名誉学長のオルガノン講読を通して、さらに理解が深まり、ホメオパシーを実践していく上での基盤が確立できることと思います。

由井名誉学長は、「*「*医術のオルガノン 第六版*」*の内容を踏まえて、ハーネマンが、現代に生きていたらどう考えるのか、という観点も含め、オルガノン第六版の先を行く講義を行っています。

※私達は皆、まだ学びの途中にいますが、本コースを受講する前に「*「*医術のオルガノン*」*について、できる限り読み込んでから受講するようにしてみてください。分からない所や疑問に思う所はどこか、自分が何が分からないのか、「分からない所を分かった」上で、受講していただくことで、本コースでの学びがより深まる事と思います。

体・心・魂を三位一体で治療に導く

ZENホメオパシーを学びませんか？

本来の自分を生きるために

万物生命の健康と幸せに寄与するために



ホメオパシー統合医療専門校 シーエイチホーム
College of Holistic Homoeopathy (CHhom)
一般財団法人 日本ホメオパシー財団 認定校 カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー



【東京校】 カレッジ・オブ・ホリスティック・ホメオパシー 事務局

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-2-3 矢藤第3ビル TEL:03-5797-3250/FAX:03-5797-3251

E-mail: CHhom@homoeopathy.ac URL: <https://www.homoeopathy.ac>